

横山ポンプ所水道施設更新工事

(建築改修工事)

図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
<建築図>								
A－01	建築改修工事特記仕様書（1）	——	A－13	現況撤去 立面図	1：50	A－25	改修後 建具符号図・建具表	1：30 1：100
A－02	建築改修工事特記仕様書（2）	——	A－14	改修後 立面図	1：50	A－26	改修後 ビット平面図	1：30 1：20
A－03	建築改修工事特記仕様書（3）	——	A－15	現況撤去 断面図	1：50	A－27	仮設計画図（参考図）	1：50
A－04	建築改修工事特記仕様書（4）	——	A－16	改修後 断面図	1：50	A－28	増設床詳細図	1：30 1:100
A－05	建築改修工事特記仕様書（5）	——	A－17	現況撤去 矩計図（1）	1：20	A－29	開口周り配筋図	1：30
A－06	建築改修工事特記仕様書（6）	——	A－18	改修後 矩計図（1）	1：20			
A－07	建築改修工事特記仕様書（7）	——	A－19	現況撤去 矩計図（2）	1：20			
A－08	建築改修工事特記仕様書（8）	——	A－20	改修後 矩計図（2）	1：20			
A－09	配置図 附近見取図	1：100 1：2500	A－21	現況撤去・改修後 天井伏図	1：50			
A－10	仕上表 工事項目	NON	A－22	現況撤去 展開図	1：50			
A－11	現況撤去 平面図・屋根伏図	1：50	A－23	改修後 展開図	1：50			
A－12	改修後 平面図・屋根伏図	1：50	A－24	現況撤去 建具符号図・建具表	1：30 1：100			

志 摩 市 上 下 水 道 部
株式会社エフウォーターマネジメント

[illegible]

3	浮き部改修工法	[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 9～15]				4	外壁改修工事（塗り仕上げ外壁改修）	① 既存塗膜等の除去、 下地処理及び 下地調整	[4. 6. 3]				⑤	① 改修工法	[5. 1. 3]				10	ステンレス製 建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5]			
		工法の種類							工 法						建具の種類						性能値級			
		アンカーピンの本数 （本/m2）				注入口の箇所数 （箇所/m2）				注入力 （mL/箇所）								性能値級 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号：・建具表による ・ ） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による ・ ） ・S-5（建具符号：・建具表による ・ ） ・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）						
		一般部 指定部				一般部 指定部												防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ） 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ・ ） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ・ ）						
		・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法				※16 ※25 ・				※25 ・								ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 鋼板（屋内） ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ						
		・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法				※13 ※20 ・				※20 ・														
		・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法				※13 ※20 ・				※20 ・														
		・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※50 ・														
		・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														
		・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法				※ 9 ※16 ・				※25 ・														

⑤

建具
改修
工事

17 オーバーヘッド
ドア

⑬ ガラス

[5.12.2.3]

セクション材料
による区分

※ステールタイプ
・アルミニウムタイプ
・ファイバーグラストイブ

耐風圧性能
区分 (Pa)

・125 (1250)
・100 (1000)
・75 (750)
・50 (500)

開閉方式
による区分

※バランス式
・チェーン式
・電動式

収納形式
による区分

・スタンダード形
・ローヘッド形
・ハイリフト形
・パーチカル形

ガイドレール
の材料

※溶融亜鉛めっき鋼板
・ステンレス鋼板
()

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所

・図示

・

フロート板ガラス
品種及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

型板ガラス
厚さによる種類
※建具表による

網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス
・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅱ-Ⅰ類
・Ⅱ-Ⅱ類
・Ⅲ類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による
性能による種類
・1種
・2種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による
断熱性による区分
・T 1
・T 2
・T 3
・T 4
・T 5
・T 6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G
・S
乾燥気体の種類
○空気
・アルゴン
・

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による
日射熱遮へい性による区分
・1種
・2種
・3種
耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)
・A類
・B類
映像調整
・行わない
・行う

倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類

ガラス留め材

ガラス溝の大きさ (mm)

アルミニウム製

○シーリング材
・ガasket
・グレイジングチャンネル形
・

※建具の製造所の仕様による
・図示

鋼製及び鋼製軽量

・シーリング材
・

※建具の製造所の仕様による
・図示

ステンレス製

・シーリング材
・

※建具の製造所の仕様による
・図示

19 ガラスブロック

[5.13.5]

表面
形状

呼び寸法

厚さ

色調
ｸﾗｲﾌﾞ乳白

目地幅 (mm)
平積み

伸縮調整
目地位置 (mm)

防火
性能

・正方形

・125×125
・160×160
・200×200
・320×320
・250×125
・320×160

80
・95
・125
95
80
95

・
・
・
・
・
・

※8～15
・15～25
・
内側
※6以上
・

※6m以下ごと
に幅10～25
・図示
・

※無し
・有り

20 ガラス用フィルム

種 類

記号

性 能 等

・日射調整フィルム

・S C－1
・S C－2

日射遮蔽性能による区分
・A
・B
・C
・D
・E

・低放射フィルム

・L E

熱貫流率による区分
・A
・B
・C
・D

・衝撃破壊対応ガラス
飛散防止フィルム
・

・G I－1
・G I－2

品質 JIS A 5759による。

⑥

内装
改修
工事

1 改修範囲

[6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う
・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
※既存のまま
・図示

2 既存床の撤去及び
下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ (接着剤とも) (下地モルタルとも) (図示の範囲 除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目視し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※図示
・

3 既存壁の撤去及び
下地補修

[6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
(塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示)

4 木下地等の表面
仕上げ

[6.5.1]

5 製材

[6.5.2]

表面仕上げの種別

適用箇所

機械加工

・A種
・B種
・C種

手加工

・H－A種
・H－B種
・H－C種

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所

樹種

寸法
(mm)

等級

形状

含水率

保存
処理

間伐材等
の適用

※2級
・

※A種・B種
・

※2級
・

※A種・B種
・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所

樹種

寸法
(mm)

等級

形状

含水率

保存
処理

間伐材等
の適用

見え掛り面

※上小節
・

※A種・B種
・

見え掛り面
以外

※小節以上
・

※A種・B種
・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所

樹種

寸法
(mm)

等級

形状

含水率

保存
処理

間伐材等
の適用

※1等
・

※10%以下
・A種・B種
・

※1等
・

※10%以下
・A種・B種
・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所

樹種

寸法
(mm)

材面の品質

防虫処理

含水率

間伐材等
の適用

(
造作材の場合
(※A種・B種)

・適用する
・適用しない

※A種・B種
・

(
造作材の場合
(※A種・B種)

・適用する
・適用しない

※A種・B種
・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

・

[6.5.2]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所

樹 種

寸法
(mm)

見付け材
面数

見付け材
面の品質

間伐材等
の適用

※1等・2等
・

※1等・2等
・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所

樹 種

寸法
(mm)

化粧薄板
の厚さ (mm)

見付け材
面数

見付け材
面の品質

間伐材等
の適用

化粧薄板:
芯材:

※1等・2等
・

化粧薄板:
芯材:

※1等・2等
・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所

樹 種

寸法
(mm)

化粧薄板
の厚さ (mm)

見付け材
面の品質

間伐材等
の適用

化粧薄板:
芯材:

※1等・2等
・

化粧薄板:
芯材:

※1等・2等
・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所

樹 種

寸法
(mm)

見付け材面の品質

含水率

間伐材等
の適用

※15%以下
・

※15%以下
ができる。

ただし、
当該施設への変更については設計変更の対象としない。

7 造作用単板積層材

[6.6.2]

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所

樹 種

寸法
(mm)

化粧薄板
の厚さ (mm)

見付け材
面の品質

含水率

間伐材等
の適用

化粧薄板:
芯材:

※15%以下
・

化粧薄板:
芯材:

※15%以下
・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

・

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所

厚さ
(mm)

表面の品質

防虫処理

間伐材等
の適用

・有り (・天然木加工
・塗装加工)
・無し ()

・適用する
・適用しない

・有り (・天然木加工
・塗装加工)
・無し ()

・適用する
・適用しない

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所

厚さ
(mm)

表面の品質

含水率

防虫処理

間伐材等
の適用

・有り (・天然木加工
・塗装加工)
・無し ()

※14%以下
・

・適用する
・適用しない

・有り (・天然木加工
・塗装加工)
・無し ()

※14%以下
・

・適用する
・適用しない

・CLT (直交集成板)

施工箇所

品名

曲げ性能
(強度等級)

種別

接着性能
使用環境

樹種

寸法
(mm)

間伐材等
の適用

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

・

[6.5.2]

・普通合板

施工箇所

厚さ
(mm)

表板の
樹種名

接着の
程度

板面の品質

防虫処理

間伐材等
の適用

※5.5
・

※1類
・2類
・

広葉樹
※2等以上
・1等
・針葉樹
※C-D以上
・

・適用する
・適用しない

・構造用合板

施工箇所

等級

単板の
樹種名

接着の
程度

板面の
品質

厚さ
(mm)

防虫
処理

強度
等級

間伐材等
の適用

※2種以上
・1種

※1類
・特類
・

※C-D以上
・

※12
・

・適用する
・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所

厚さ
(mm)

単板の樹種名

接着の程度

防虫処理

間伐材等
の適用

・1類・特類
・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所

化粧板に使用する
単板の樹種名

厚さ
(mm)

接着の程度

防虫処理の適用

・1類・2類
・適用する ()

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所

厚さ
(mm)

接着の程度

表面性能

化粧加工の
方法

防虫処理の
適用

間伐材等
の適用

・1類・2類
・

・適用する
()

・パーティクルボード

施工箇所

表表面の状態
による区分

曲げ強さ
による区分

耐水性
による区分

難燃性
による区分

厚さ
(mm)

※13タイプ
・

※P又はM
・

※15
・

⑨ 接着剤

10 防腐・防蟻処理

[6.5.5]

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所

厚さ
(mm)

表面の品質

防虫処理

間伐材等
の適用

・有り (・天然木加工
・塗装加工)
・無し ()

・適用する
・適用しない

・有り (・天然木加工
・塗装加工)
・無し ()

・適用する
・適用しない

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所

厚さ
(mm)

表面の品質

含水率

防虫処理

間伐材等
の適用

・有り (・天然木加工
・塗装加工)
・無し ()

※14%以下
・

・適用する
・適用しない

・有り (・天然木加工
・塗装加工)
・無し ()

※14%以下
・

・適用する
・適用しない

・CLT (直交集成板)

施工箇所

品名

曲げ性能
(強度等級)

種別

接着性能
使用環境

樹種

寸法
(mm)

間伐材等
の適用

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

・

[6.5.2]

・普通合板

施工箇所

厚さ
(mm)

表板の
樹種名

接着の
程度

板面の品質

防虫処理

間伐材等
の適用

※5.5
・

※1類
・2類
・

広葉樹
※2等以上
・1等
・針葉樹
※C-D以上
・

・適用する
・適用しない

・構造用合板

施工箇所

等級

単板の
樹種名

接着の
程度

板面の
品質

厚さ
(mm)

防虫
処理

強度
等級

間伐材等
の適用

※2種以上
・1種

※1類
・特類
・

※C-D以上
・

※12
・

・適用する
・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所

厚さ
(mm)

単板の樹種名

接着の程度

防虫処理

間伐材等
の適用

・1類・特類
・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所

化粧板に使用する
単板の樹種名

厚さ
(mm)

接着の程度

防虫処理の適用

・1類・2類
・適用する ()

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所

厚さ
(mm)

接着の程度

表面性能

化粧加工の
方法

防虫処理の
適用

間伐材等
の適用

・1類・2類
・

・適用する
()

・パーティクルボード

施工箇所

表表面の状態
による区分

曲げ強さ
による区分

耐水性
による区分

難燃性
による区分

厚さ
(mm)

※13タイプ
・

※P又はM
・

※15
・

⑩ 構造用パネル

11 軽量鉄骨天井下地

[6.6.2~4]

・構造用パネル

施工箇所

等 級

厚さ (mm)

・1級
・2級
・3級
・4級

・MDF

施工箇所

厚さ
(mm)

裏表面の状態
による区分

曲げ強さ
による区分

接着剤
による区分

難燃性
による区分

接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着材の種類
・図示
・

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位 ()

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材

保存処理性能区分

・K 2
・K 3
・K 4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材

処理の方法

薬剤の種類

※改修標準仕様書6.5.5
(1) (b) ② 7~Iによる

※JIS A 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位 ()

野縁等の種類
屋外 ※25形
・19形
屋内 ※19形
・25形

・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる (・1
・1.15
・1.3) の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔
・図示
・
周辺部の端からの間隔
・図示
・
野縁の間隔
・図示
・

既存の埋込みインサート
・使用する
・使用しない
あと施工アンカーの確認試験
・行う
箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
・
確認強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の
単位面積当たりの質量が20kg/m2 以内の天井の場合、400N程度
・
・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示
・
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法
※改修標準仕様書6.6.4(8)による
・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示
・
・天井の下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※図示
補強方法 ※図示

スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書 表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示
・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修準仕様書6.7.4(5)による
・図示

目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法
・

種類

種類の記号

色 柄

厚さ (mm)

※F S
・
・

・無地
・マーブル柄
・柄物

※2.0
・

種類

種類の記号

色 柄

寸 法

厚さ (mm)

※K T
・T T
・F O A
・F O B

・無地
・柄物
・
・

・300×300
・450×450
・

※2.0
・2.5
・3.0

13 ビニル床シート

[6.8.2.3]

14 ビニル床タイル

[6.8.2]

DATE 令和7年2月

SUBJECT 横山ポンプ所水道施設更新工事

TITLE 建築改修工事特記仕様書 (4)

SCALE NON SCALE

APPRV'D CHECKED DRAWN 小幡 直巳

SHEET NO. A-04 29

株式会社 エフウォーターマネジメント
1級建築士登録第183114号 小幡 直己

<共通事項>

①適用範囲

・改修標準仕様書第8章耐震改修工事
・改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分

工事内容

○現場打ち鉄筋コンクリート壁（地中梁）の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き付き工法）
・柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事

○土工事及び地業工事

2既存部分の処理等

[8.21.2、3][8.22.2、3][8.23.2、3][8.24.4][8.25.2][8.28.2]

既存構造体の撤去
撤去範囲
・図示による（ ）
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（ ）
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲
・既存柱、梁面
・打継ぎ面の15～30％程度に、平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける
・
・既存壁
・打継ぎ面の15～30％程度に、平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を全体にわたってつける
・
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法
・図示による（ ）
・杭頭部の処理
・図示による（ ）
・既存杭の補強
・図示による（ ）
・既存杭の健全性を確認する試験
・行う
・図示による（ ）
・行わない

8-1鉄筋工事

①鉄筋

[8.2.1]

鉄筋の種類

種類の記号	呼び径(mm)	備考
○SD295A	D10、13、16	
○SD345	D19、22	
-		

2溶接金網

[8.2.2]

鉄線の形状等

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

③鉄筋の継手及び定着

[8.3.4][8.4.2、3]

鉄筋の継手の方法等

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	○ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	D19
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	
その他の鉄筋	・重ね継手	
()		

継手位置
・図示による（ ）
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ
・図示による（ ）
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による（ ）
鉄筋の定着の長さ
・図示による（ ）

④鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む）

[8.3.5][表8.3.6]

最小かぶり厚さ
○公共建築工事標準仕様書による軽量コンクリートを適用する場合
・あり適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm
・耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm

5圧接完了後の圧接部の試験

[8.3.8]

超音波探傷試験
※行う（全圧接部）

6機械式継手

[8.4.2]

適用箇所
・図示による（ ）
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
機械式継手の種類
・図示による（ ）

7溶接継手

[8.4.3]

適用箇所
・図示による（ ）
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
溶接継手の工法
・図示による（ ）

8割製補強筋

[8.21.6][8.22.7]

仕様
・図示による（ ）

8-2コンクリート工事

①コンクリートの種類

[8.1.3]

コンクリートの類別
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

②コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

[8.1.3、4][8.2.5][8.9.2]

○普通コンクリート

設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所
・21+3	・18	・2.3程度	土間・基礎・側溝
・18	・15	・	捨てコン
-			
-			

★印は構造体強度補正値(S)を適用しない

・軽量コンクリート

設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	種類	適用箇所
・	※21	・	・1種 ・2種	
-				

③セメント

[8.2.5]

種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする）
適用箇所（ ）
・高炉セメントB種
適用箇所（※基礎及び基礎梁）
・フライアッシュセメントB種
適用箇所（ ）
・

④骨材

[8.2.5]

アルカリシリカ反応性による区分
※A
・B

⑤混和材料

[8.2.5]

○混和剤
混和剤の種類
※改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による
・混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による
・

6構造体用モルタル

[8.2.6]

構造体用モルタル
圧縮強度（ ）
フロー値（ ）

7暑中コンクリート

[8.10.2]

構造体強度補正值
※6N/mm²

8マスコングリート

(6.13.1、2)

適用箇所
・図示による（ ）
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中麻熟ポルトランドセメント
・低熟ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(7)による
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(4)による
・スランプ
※15cm
構造体強度補正值
・※標準仕様書表6.13.1による

9無筋コンクリート

[8.11.1]

コンクリートの種類
・※普通コンクリート
設計基準強度
※18(N/mm2)
スランプ
※15cm又は18cm
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
適用箇所
・図示による（ ）

10流動化コンクリート

(6.15.1)

適用箇所
・図示による（ ）

11打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

(6.6.4)(6.8.1)

打継ぎの位置
・図示による（ ）
目地寸法
・標準仕様書9.7.3(1)(7)～(9)による
・図示による（ ）
ひび割れの誘発目地の位置、形状、寸法
・図示による（ ）

⑫構造体コンクリートの仕上り

[8.1.4]

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

種別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
・a種	
・b種	
○c種	

限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

8-3鉄骨工事

1鉄骨製作工場

[8.1.5]

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める（グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場）
・監督職員の承諾する工場

2鉄骨製作工場における施工管理技術者

[8.1.6]

配置する
・配置しない

3鋼材

[8.2.8]

種類等

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格等
		・JIS規格による ・JIS規格による ・JIS規格による

4高力ボルト

[8.2.9][8.13.2][8.14.2]

高力ボルトの種類
・トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（ ）
摩擦面の処理方法
・
・自然発錆（黒皮等を除去した後自然放置して表面に赤さびが発生した状態）
・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・すべり試験の実施
・すべり係数試験
・すべり耐力試験
すべり試験において、対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況の確認をする

5普通ボルト

[8.13.2](7.2.3)

ボルト及びナットの材料
・標準仕様書表7.2.3（JIS付属書品）又は次による。
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又はねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。
ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナットーCとし、材料は、鋼とする。

座金
ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（ ）
母屋又は副縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm

6溶融亜鉛めっき高力ボルト

[8.13.2][8.14.2][8.20.5]

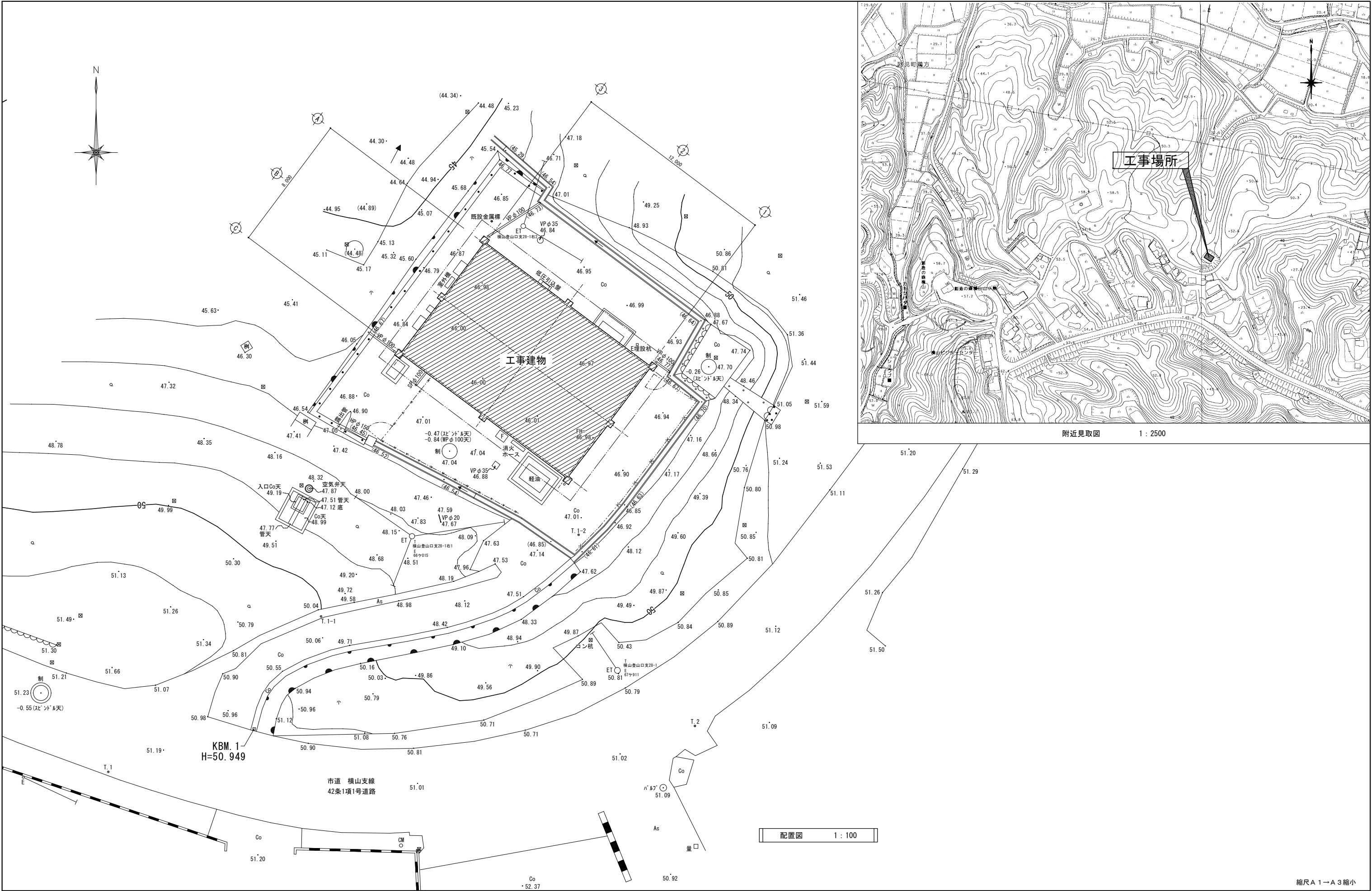
ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（ ）
摩擦面の処理方法
・
・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・りん酸塩処理
・すべり試験の実施
・すべり係数試験
・すべり耐力試験
すべり試験において、対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況の確認をする

7アンカーボルト

(7.2.4)(7.3.2)

構造用アンカーボルト
種類
・ABR400
・ABR490
・建方用アンカーボルト
種類
・SS400
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
・

8 耐震改修工事	11 仮組	仮組を行う範囲 ・ 図示による () ・ [8. 13. 10]	8 耐震改修工事	8-4 あと施工アンカー工事 ① あと施工アンカー [8. 2. 4]	材料等 ・ 金属系アンカー ・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による () ・ セン断耐力 ・ kN ・ 図示による () アンカー本体の径及び埋込み長さ ・ 図示による () セット方式 ※ 本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () ○ 接着系アンカー ・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による () ・ セン断耐力 ・ kN ・ 図示による () アンカーの種類 ※ カプセル方式回転・打撃式 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ・ 図示による () アンカー筋の種類 アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ()	8-6 連続繊維補強工事 1 連続繊維シート [8. 2. 13][8. 24. 6]	連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 引張強度 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ヤング係数 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ・ 下地処理 ・ ひび割れ部改修 [8. 24. 7] 範囲 ・ 図示による () 種類 ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による () 連続繊維補強材の強度試験 ・ 引張強度試験 ※ JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法) による ・ 試験数量 ・ 図示による () ・ 付着強度試験 ※ JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による ・ 試験数量 ・ 図示による () 補強工事後の仕上げ ・ 図示による ()			
	12 溶接技能者の技量付加試験 [8. 15. 3]	試験の要領 ・ 図示による () ・ [8. 15. 4、7]		2 穿孔 [8. 12. 4]	埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる ・ [8. 12. 7]	8-7 耐震スリット工事 1 スリットの方式、幅及び深さ [8. 25. 2]	方式 ・ 完全 ・ 部分 幅及び深さ ・ 図示による () 設置箇所 ・ 図示による ()			
	13 溶接接合 [8. 15. 4、7]	開先の形状 ・ 図示による () ・ エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による () 切断範囲 ・ ・ エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ・ 改修標準仕様書8. 15. 7 (1) (a) (b) ②による ・ スカラップの形状 ・ 図示による ()		3 施工確認試験 [8. 12. 7]	試験方法 ※ 引張試験機による引張試験 確認強度 ・ 図示による ()	2 スリットの施工前の埋込み配管等の探査 [8. 12. 4]	既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつりだしによる			
	14 入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・ 図示による () 適用箇所 ・ 図示による () ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部		8-5 グラウト工事 1 柱底均しモルタル及びグラウト材 [8. 2. 12]	・ 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの) とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	3 スリットの充填材の挿入及び周囲補修等 [8. 25. 2]	・ 耐火材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による () ・ 遮音材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による () 撤去部の補修 ・ ※撤去材と同一材で補修			
	15 溶接部の試験 [8. 15. 12]	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・ 「突合わせ継手の食い違い仕口の検査・補強マニュアル」3. 5. 2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・ JASS 6 10. 4「受入検査」e. 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7. 6. 13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※全数 ・ 工事現場溶接の場合 ※全数								
耐震改修工事	16 錆止め塗装 [7. 3. 3] [8. 17. 2、4]	塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による () 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示による () 塗料の種類 ・ 鉄鋼面の錆止め塗料の種類 屋外 ・ A種 屋内 ・ A種 ・ 垂鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種類 ・ 塗料種類 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・	8 耐震改修工事		無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2. 0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 無収縮性 材齢7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20. 0N/mm ² 以上 材齢 28日 40. 0N/mm ² 以上 塩化物量 0. 30kg/m ³ 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の試験の場合はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	⑧ 土工事及び地業工事 ① 埋戻し及び盛土 [8. 28. 3]	埋戻し及び盛土 ・ A種 適用場所 () ○B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () ・ 材料 () 工法 () 適用場所 ()			
	17 耐火被覆 [8. 18. 2～8]	種類、材料、工法等 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 耐火材 吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・ 耐火材巻付け ・ 高耐熱ロックウール ・ ・ ラス張り - ・ モルタル塗り ・ 耐火塗料			2 山留めの撤去 [8. 28. 3]	鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する 山留めの存置 ・ 行う (存置範囲 ※図示 ())				
	18 アンカーボルトの設置等 (7. 10. 3)	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による () 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・ 図示による () 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・ A種 ・ B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 厚さ 種類 ※A			3 杭地業 [8. 2. 15][8. 28. 4] (4. 3. 8)	支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ・ 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・ 図示による () ・ 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による () ・ 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による () ・ 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・ 図示による () 溶接部の確認 ・ 図示による () ・ 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () ・ 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎コンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方向のずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・ 1/100以内 記録する施工状況等 ・ 図示による ()				
	19 鉄骨ブレース設置後の仕上げ [8. 22. 9]	・ 図示による ()			④ 砂利地業 [8. 2. 15][8. 28. 4]	材料 ○再生クラッシャーラン ・ 切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※60mm ○150mm				
					⑤ 捨コンクリート地業 [8. 2. 15][8. 28. 4]	捨コンクリートの厚さ ※50mm コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18 N/mm ² スランブ ※15cm又は18cm				



DATE	令和7年2月	SUBJECT	横山ポンプ所水道施設更新工事	TITLE	SCALE	APPRV'D	SHEET NO.	株式会社 エフウォーターマネジメント
				附近見取図・配置図	A1 1:100 A3 1:200	CHECKED	A-9 29	
						DRAWN		
								1級建築士登録第183114号 小幡 直己

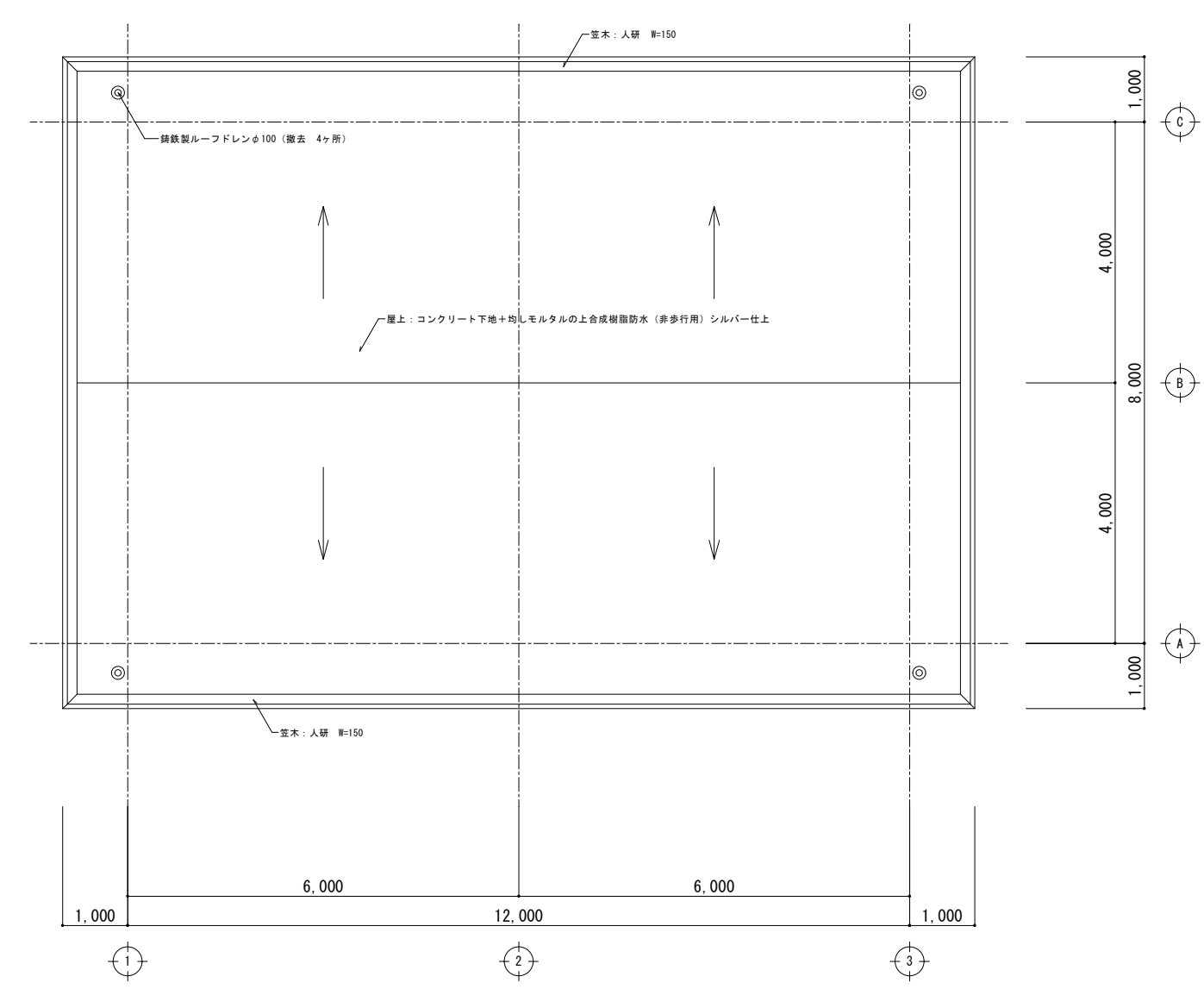
外部仕上表									
[現況]					[改修後]				
屋 上	コンクリート下地（勾配1/100）均しモルタルの上合成樹脂防水（非歩行用）シルバー仕上	建 具	出入口：スチール製両開き防音扉W1800×H2300＜撤去＞		屋 上	高圧水洗浄、下地調整の上ウレタン塗膜防水（X-1工法）＜新設＞	建 具	出入口：スチール製両開き防音扉W1800×H2300＜新設＞	
笠 木	人研 W=150	樋	吸気ガラリ：スチール製W1200×H400、ステンレス防虫網		笠 木	高圧水洗浄、下地調整の上ウレタン塗膜防水（X-2工法）＜新設＞	樋	吸気ガラリ：スチール製W1200×H400、ステンレス防虫網＜DP塗替・コーキング打替＞	
庇見付	モルタル刷毛引きの上アクリルリシン吹付		鑄鉄製ルーフドレンφ100、コールターール焼付 4ヶ所＜撤去＞		庇見付	高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付＜新設＞		改修用ドレンφ100 4ヶ所＜新設＞	
軒 裏	ベニヤ合板型枠コンクリート打放しの上シリコン吹付＋吹付タイル＜撤去＞		堅樋 硬質塩ビ管φ100、掴み金物φ1,000以内 4ヶ所＜撤去＞		軒 裏	高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付＜新設＞		堅樋 カラーV P φ100、掴み金物φ1,000以内 4ヶ所＜新設＞	
柱型・梁型	化粧型枠コンクリート打放しの上シリコン吹付	その他	貯油槽基礎 W1200×D1200×H200、消音器柵		柱型・梁型	高圧水洗浄、下地調整の上水性アクリルシリコン塗（リフレッシュコート）＜新設＞	その他	既設のまま	
外 壁	モルタル刷毛引きの上アクリルリシン吹付＋吹付タイル				外 壁	高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付＜新設＞			
巾 木	モルタル刷毛引き H=300				巾 木	高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付＜新設＞			
換気扇・ガラリフード	天端：防水モルタル塗				換気扇・ガラリフード	天端：ウレタン塗膜防水＜新設＞			

内部仕上表																					
階	室 名		居室	床高さ	天井高さ	床		巾木		腰 壁		壁		天 井		室 名	備 考				
						下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上						
1 階	電気室	現 況		±0	2.700	CON	モルタル金コテ押え t=30 塗床仕上 ＜一部撤去＞		ソフト巾木 H=100 ＜一部撤去＞		_____		LGS	石膏ボード張 t=12.5 塗装仕上 ＜一部撤去（下地LGS共）＞		LGS	化粧石膏ボード張 t=9.5（910×455）	電気室	換気扇400φ 配線ビット アルミ製パーティション＜一時取外し（一部撤去）＞		
		改修後		±0	2.700	CON	【改修部分】 モルタル金コテ押え t=30＜新設＞ 【全面】防塵塗装＜新設＞		【改修部分】 ソフト巾木 H=100＜新設＞		_____		LGS	【改修部分】 石膏ボード張 t=12.5 EP-G＜新設（下地LGS共）＞			既設のまま		換気扇400φ＜既設のまま＞ 配線ビット＜既設のまま・一部新設＞ アルミ製パーティション＜再取付＞		
	ポンプ室	現 況		-1.000	3.700	CON	モルタル金コテ押え t=30 ＜一部撤去＞		_____	CON	モルタル金コテ押え VP塗 H=1.000まで ＜一部撤去＞		LGS	石膏ボード張 t=12.5 塗装仕上 ＜一部撤去（下地LGS共）＞		LGS	化粧石膏ボード張 t=9.5（910×455）	ポンプ室	集水樹、I ビーム、換気扇φ400 機械基礎＜一部撤去＞ 排水溝＜一部撤去＞ 銅製手摺＜一部撤去＞ 鉄骨階段＜撤去＞2ヶ所		
		改修後		-1.000 ±0	3.700 2.700	CON	【改修部分】 モルタル金コテ押え t=30＜新設＞ 【全面】防塵塗装＜新設＞		ソフト巾木 H=100＜新設＞	CON	【改修部分】 モルタル金コテ押え VP塗 H=1.000まで＜新設＞		LGS	【改修部分】 石膏ボード張 t=12.5 EP-G＜新設（下地LGS共）＞			既設のまま		集水樹、I ビーム、換気扇φ400＜既設のまま＞ 機械基礎＜既設のまま・床嵩上げ部 新設＞ 排水溝＜既設のまま・床嵩上げ部 新設＞ 銅製手摺＜新設・既設DP塗替＞ 階段段鼻ノンスリップタイル＜新設＞		
		現 況		±0	2.700	CON	モルタル金コテ押え t=30 ＜一部撤去＞		ソフト巾木 H=100		_____		LGS	石膏ボード張 t=12.5 塗装仕上 ＜一部撤去（下地LGS共）＞		LGS	化粧石膏ボード張 t=9.5（910×455）		スチール製ガラリ（SG1）		
		改修後		±0	2.700	CON	【改修部分】 モルタル金コテ押え t=30＜新設＞ 【全面】防塵塗装＜新設＞		【改修部分】 ソフト巾木 H=100＜新設＞		_____		LGS	【改修部分】 石膏ボード張 t=12.5 EP-G＜新設（下地LGS共）＞			既設のまま		スチール製ガラリ（SG1）＜DP塗替・コーキング打替＞		

屋上防水改修工事 工事項目			外壁改修工事 工事項目						
1. 一般平部	現 況	既設防水層＜既設のまま＞ ※アスベスト含有（接着剤）	1. ひび割れ部補修		自動低圧式エポキシ樹脂注入工法 ①ひび割れ部の確認・マーキング ②ひび割れ部の清掃 ③注入用パイプセット ④ひび割れ面シール、硬化養生 ⑤シリンダー取付、注入、硬化養生 ⑥パイプ・シール材撤去	5. 軒裏改修	現 況	既設仕上材＜撤去＞	
	改修後	高圧水洗浄、下地調整の上、ウレタン塗膜防水＜新設＞（X-1工法）					改修後	高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付＜新設＞	
2. パラペット立上り部	現 況	既設防水層＜既設のまま＞	2. 爆裂・露筋部補修		エポキシ樹脂モルタル充填工法 ①脆弱部分を研り、健全部を露出 ②鉄筋に錆が発生している場合にはケレン等で除去 ③中性化回復材を塗布 ④エポキシ樹脂モルタルを充填 ⑤金コテ等で十分押え平滑に仕上げ、硬化養生 ⑥柱・梁：化粧型枠表面仕様復旧（杉板本実化粧型枠）（若返り工法 水性アクリルシリコン樹脂）	7. 堅樋改修	現 況	既設堅樋＜撤去＞	
	改修後	高圧水洗浄、下地調整の上、ウレタン塗膜防水＜新設＞（X-2工法）					改修後	カラーV P φ100＜新設＞	
3. ドレン廻り	現 況	既設ルーフドレン							
	改修後	改修用ドレン 縦型φ100（新設）							
4. 笠木廻り	現 況	既設笠木＜既設のまま＞	3. 柱・梁改修	現 況	既設仕上材＜既設のまま・一部上記補修＞				
	改修後	高圧水洗浄、下地調整の上、ウレタン塗膜防水＜新設＞（X-2工法）							改修後
5. フード天端	現 況	既設仕上材＜既設のまま＞	4. 外壁・巾木・庇見付改修	現 況	既設仕上材＜既設のまま・一部上記補修＞				
	改修後	ウレタン塗膜防水＜新設＞							改修後

※外壁、屋上等の塗装色は原則として焦げ茶色とし、監督職員と協議の上決定する。

DATE 令和7年2月		SUBJECT 横山ポンプ所水道施設更新工事	TITLE		SCALE	APPRV'D	SHEET NO.		株式会社 エフウォーターマネジメント 1級建築士登録第183114号 小幡 直己
			仕上表		NON SCALE	CHKCD	A-10 29		
						DRAWN			

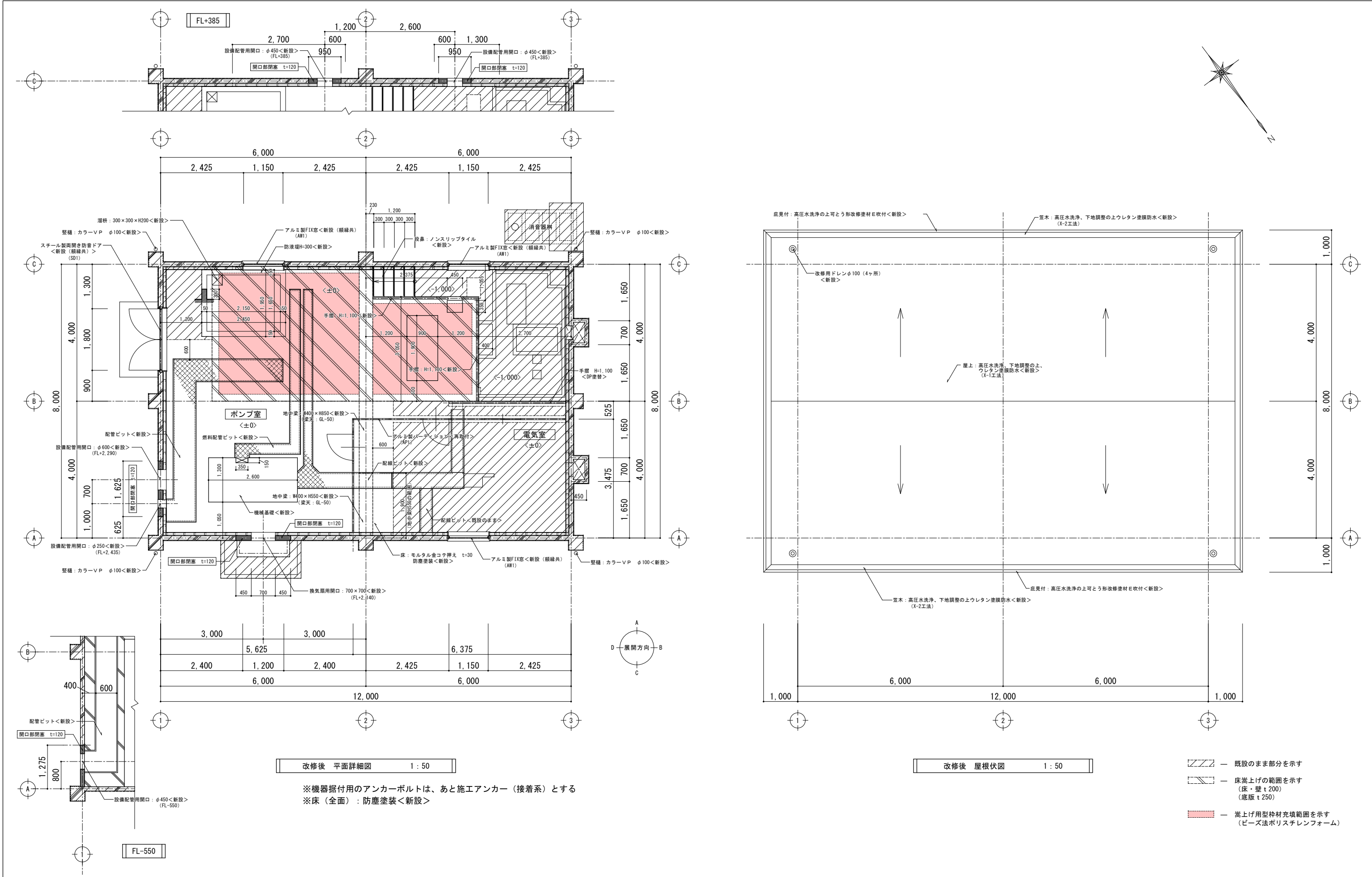


現況撤去 屋根伏図	1 : 50
-----------	--------

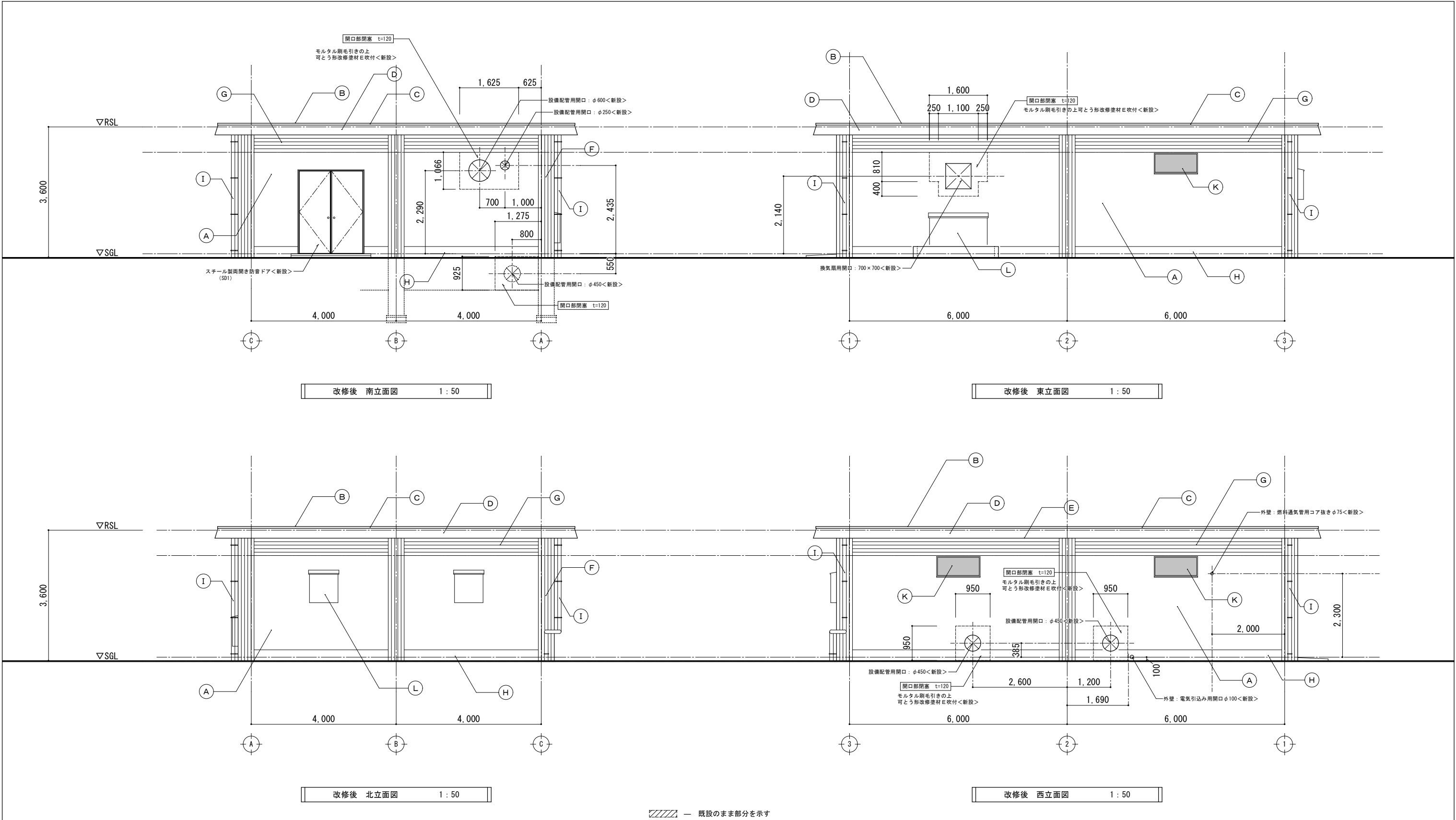
No.	寸法 (W×D×H)	箇所数
①	1,100×2,150×H100	1
②	1,900×900×H100	2
③	550×210×H380	1
④	400×600×H200	2
⑤	400×200×H400	3

 — 解体撤去部分を示す

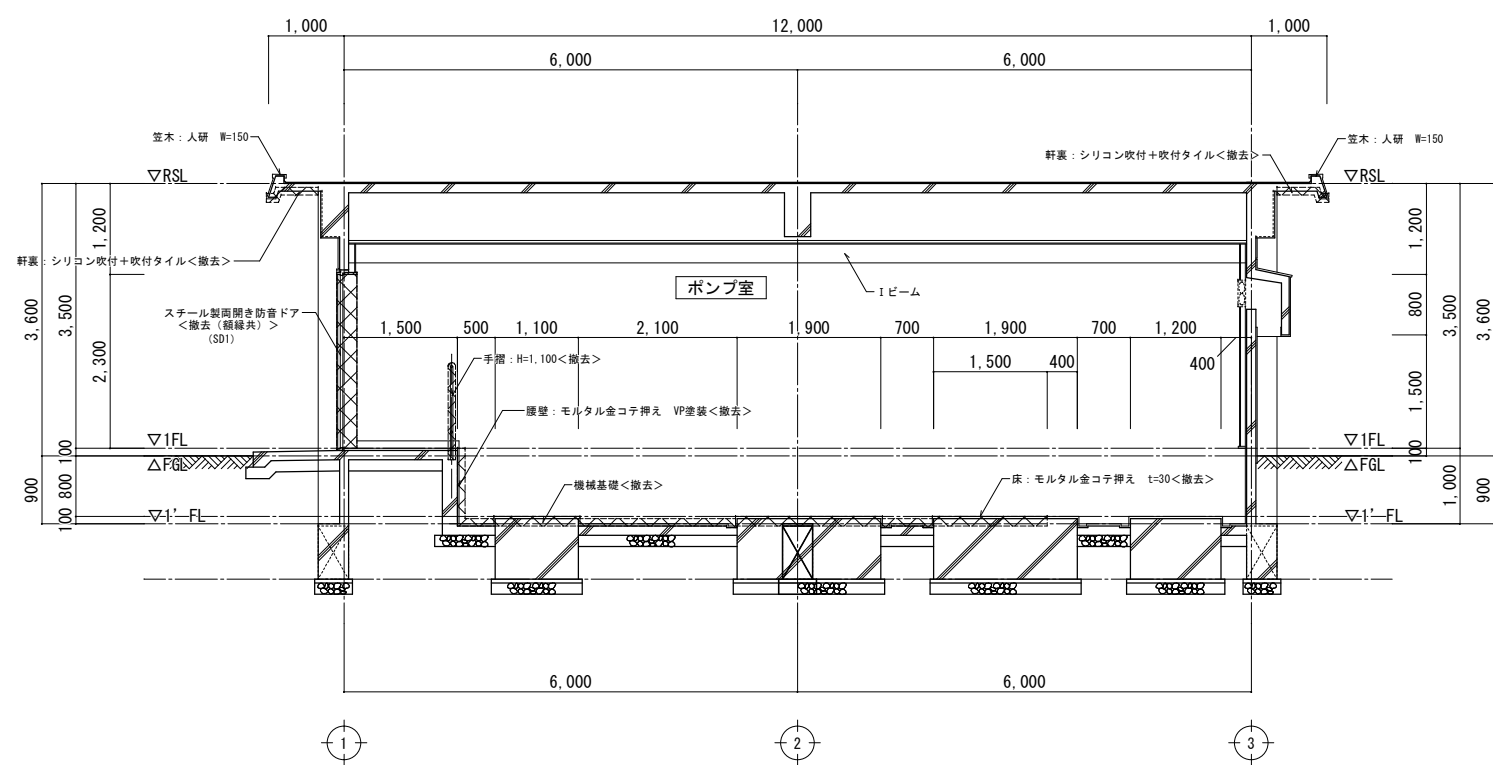
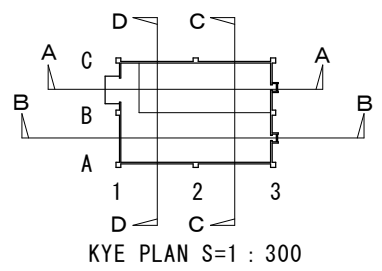
縮尺 A 1 → A 3 縮小



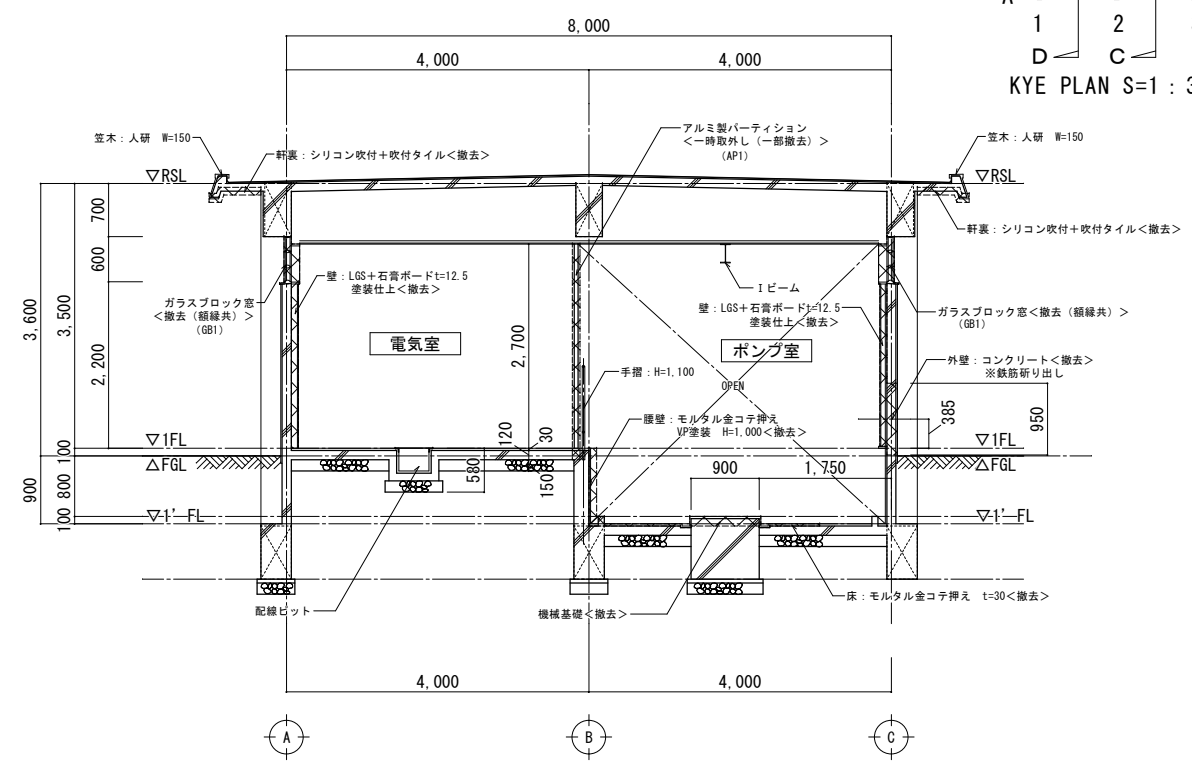
DATE 令和7年2月		SUBJECT 横山ポンプ所水道施設更新工事	TITLE		SCALE	APPR' D	SHEET NO.		株式会社 エフウォーターマネジメント 1級建築士登録第183114号 小幡 直己
			改修後 平面図・屋根伏図		A1 1: 50 A3 1: 100	CHECKED	A-12 29		
						DRAWN 小幡 直己			



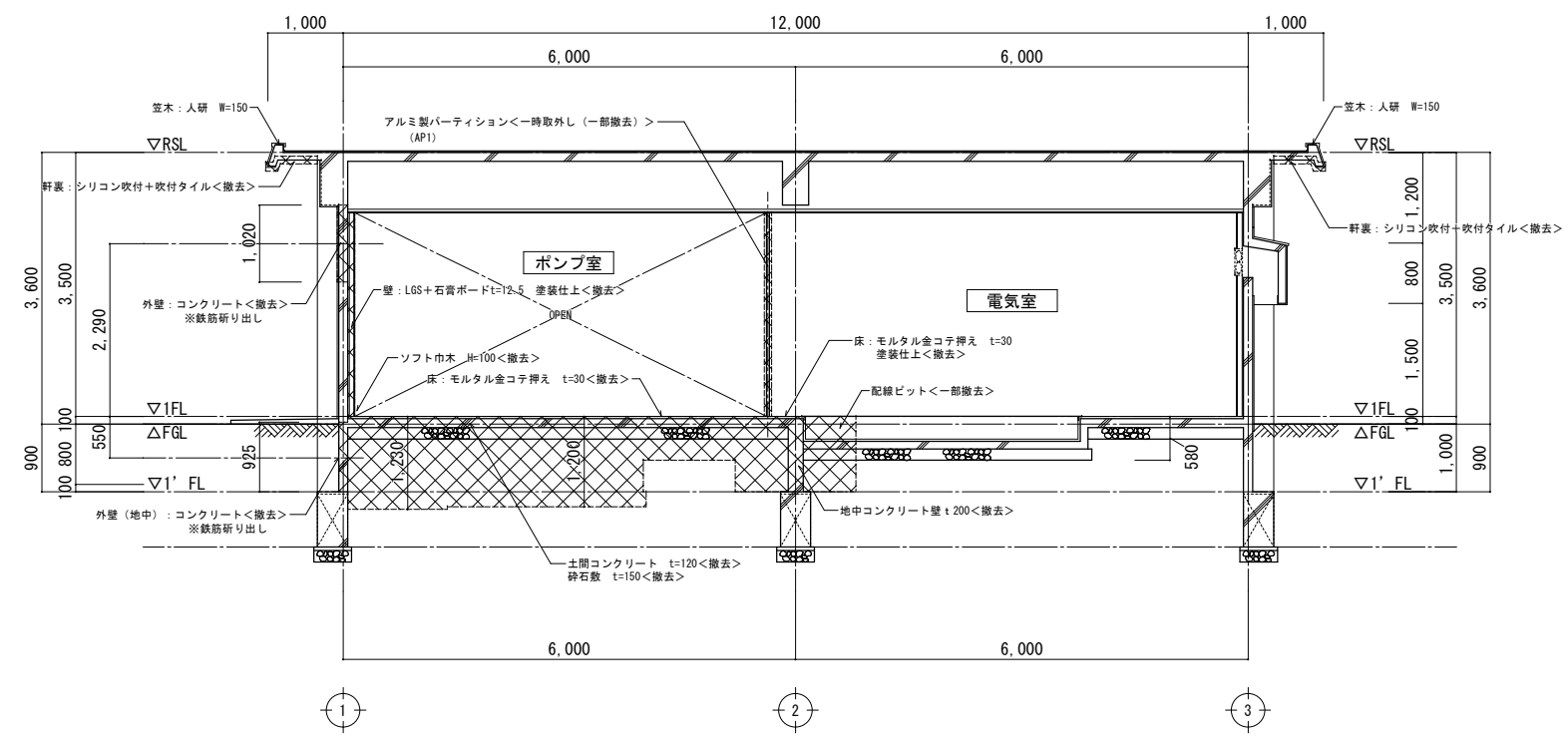
凡 例					
(A)	外壁：高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付<新設>	(F)	柱型：高圧水洗浄、下地調整の上水性アクリルシリコン塗<新設>	(K)	アルミ製FIX窓（AW1）<新設・3ヶ所>
(B)	屋上：高圧水洗浄、下地調整の上ウレタン塗膜防水（X-1工法）<新設>	(G)	梁型：高圧水洗浄、下地調整の上水性アクリルシリコン塗<新設>	(L)	換気扇・ガラリ フード
(C)	笠木：高圧水洗浄、下地調整の上ウレタン塗膜防水（X-2工法）<新設>	(H)	巾木：高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付<新設>		見付面：高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付<新設>
(D)	庇見付：高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付<新設>	(I)	竖樋：カラーV P φ100<新設>		天 端：高圧水洗浄、下地調整の上ウレタン塗膜防水<新設>
(E)	軒裏：高圧水洗浄の上可とう形改修塗材E吹付<新設>	(J)			



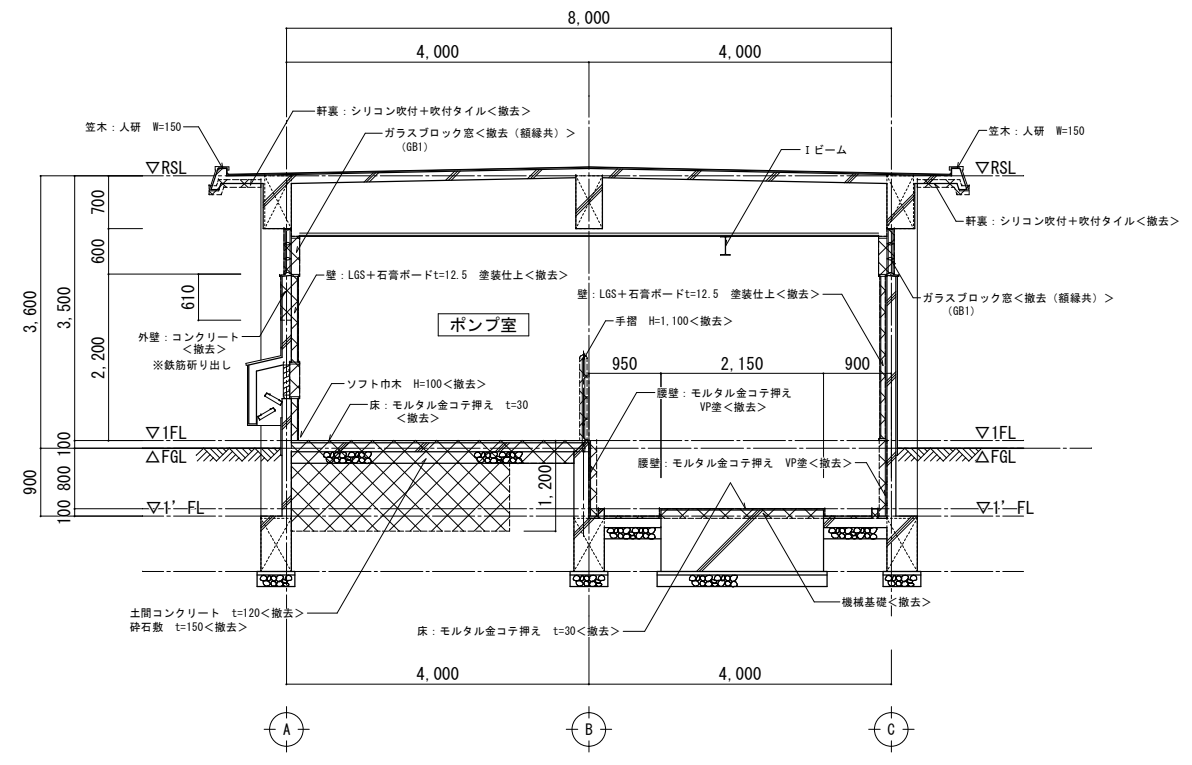
現況撤去 A-A 断面図 1:50



現況撤去 C-C 断面図 1:50



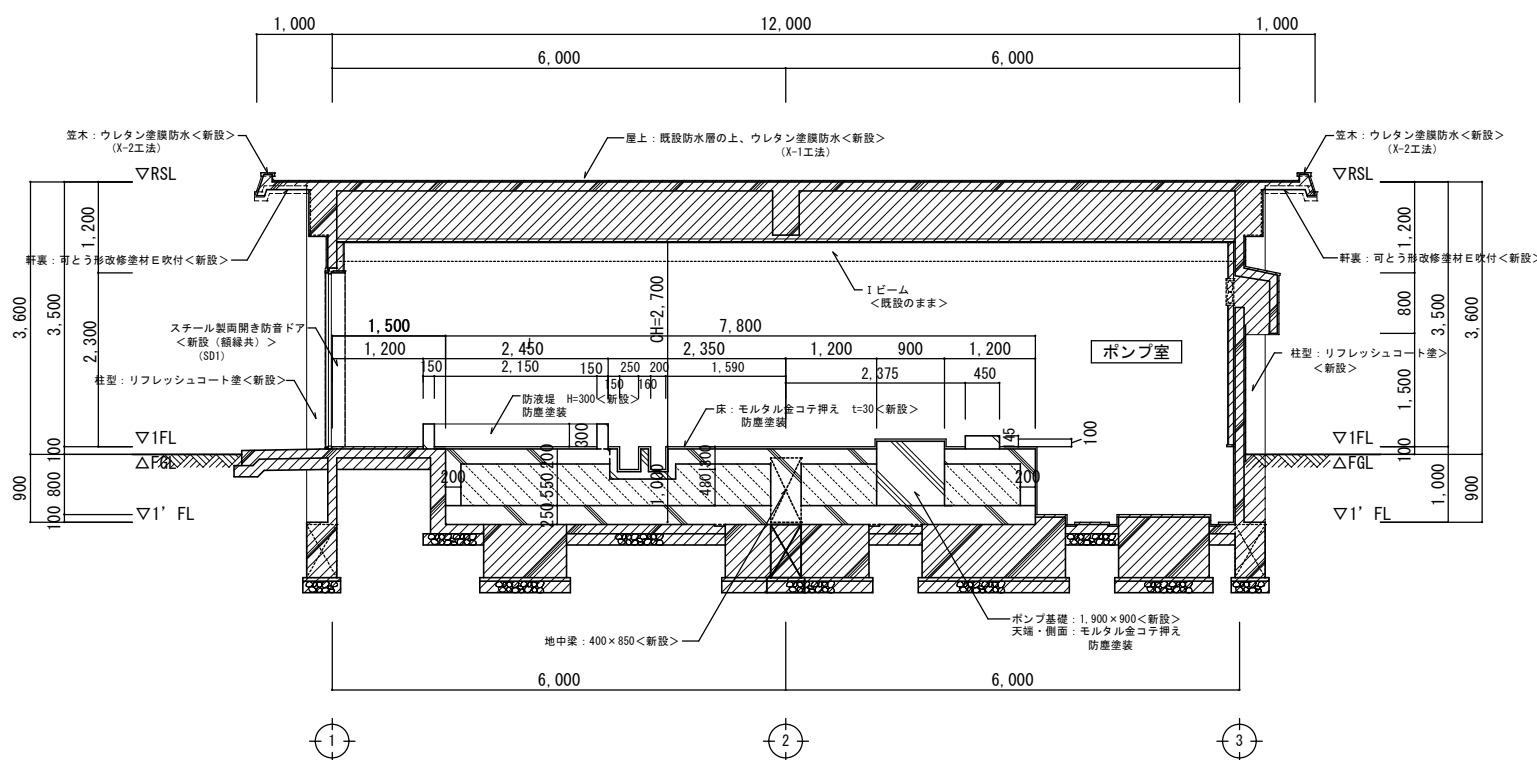
現況撤去 B-B 断面図 1:50



現況撤去 D-D 断面図 1:50

XXXX — 解体撤去部分を示す

<div>DATE 令和7年2月</div>	<div>SUBJECT 横山ポンプ所水道施設更新工事</div>	<div>TITLE 現況撤去 断面図</div>	<div>SCALE A1 1:50 A3 1:100</div>	<div>APPROVED CHECKED DRAWN 小幡 直己</div>	<div>SHEET NO. A-15 29</div>	<div>株式会社 エフウォーターマネジメント 1級建築士登録第183114号 小幡 直己</div>
------------------------	-----------------------------------	---------------------------	---------------------------------------	---	----------------------------------	---



Architectural floor plan of the 1st floor (1F) showing the layout of the Pump Room (ポンプ室) and Electrical Room (電気室). The plan includes dimensions, room names, and construction details.

Dimensions:

- Overall width: 12,000 (divided into 1,000, 6,000, 6,000, and 1,000 segments).
- Overall height: 3,600 (divided into 900, 100, 800, 100, 1,500, 800, and 1,200 segments).
- Room widths: 6,000 (Pump Room), 6,000 (Electrical Room).
- Room heights: 2,600 (Pump Room), 1,400 (Electrical Room).

Rooms and Features:

- ポンプ室 (Pump Room):** Located on the left side. Features include a bed (床: モルタル金コテ押え $t=30$ <新設> 防塵塗装), equipment access opening (設備配管開口: $\phi 600$ <新設>), and a door (開口部閉塞 $t=120$).
- 電気室 (Electrical Room):** Located on the right side. Features include a bed (床: モルタル金コテ押え <既設のまま> 防塵塗装 <新設>), equipment access opening (設備配管開口: $\phi 450$ <新設>), and a door (開口部閉塞 $t=120$).

Construction Details:

- Roof: Existing waterproof layer on top, urethane waterproofing <new> (X-1工法).
- Walls: Urethane waterproofing <new> (X-2工法).
- Floors: Existing concrete floor, dustproof coating <new>.
- Columns: Refresh coating <new>.
- Doors: Refresh coating <new>.
- Equipment: New equipment access opening.
- Pipes: New piping and fittings.
- Foundation: New foundation for the pump room.

Other Labels:

- ▽RSL (Roof Level)
- ▽1FL (1st Floor Level)
- ▽1' FL (1st Floor Level)
- ▽FGL (Ground Level)
- ▽1' FL (1st Floor Level)

Architectural cross-section drawing of a building structure, showing a pump room (ポンプ室) and a main room. The drawing includes detailed dimensions, material specifications, and construction methods.

Dimensions:

- Overall width: 8,000 (divided into two 4,000 sections).
- Overall height: 3,600 (divided into 100, 800, 100, 1,790, 700, 310, 700).
- Room width: 4,000.
- Room height: 2,700 (CH=2,700).
- Foundation height: 100, 800, 100.

Structural Details and Materials:



- Roof:** 屋上: 既設防水層の上、ウレタン塗膜防水<新設> (X-1工法). 葺裏: 可とう形改修塗材E吹付<新設>.
- Exterior Walls:** 壁: LGS+石膏ボードt=12.5 EP-G<新設>. 壁: LGS+石膏ボードt=12.5 EP-G<新設>.
- Interior Walls:** アルミ製FIX窓<新設 (額縁共)> (AW1). 柱型: リフレッシュコート塗<新設>.
- Floor:** 床: モルタルコシ押え t=30<新設> 防塵塗装. ソフト巾木 H=100<新設>.
- Foundation:** 基礎: 砕石敷 t=150<新設>. 土間コンクリート t=120<新設>.
- Other Details:** 換気用開口: 700×700<新設>. 開口部閉塞 t=120. 防塵堤 H=300<新設>. 溝柵: 300×300×H200<新設>.

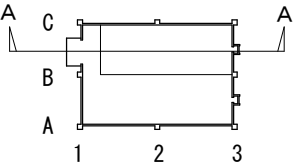
Labels and Notes:

- ポンプ室 (Pump Room)
- △RSL (Roof Level)
- △1FL (First Floor Level)
- △FGL (Ground Level)
- △1' FL (First Floor Level)
- △RSL (Roof Level)
- △1FL (First Floor Level)
- △FGL (Ground Level)
- △1' FL (First Floor Level)

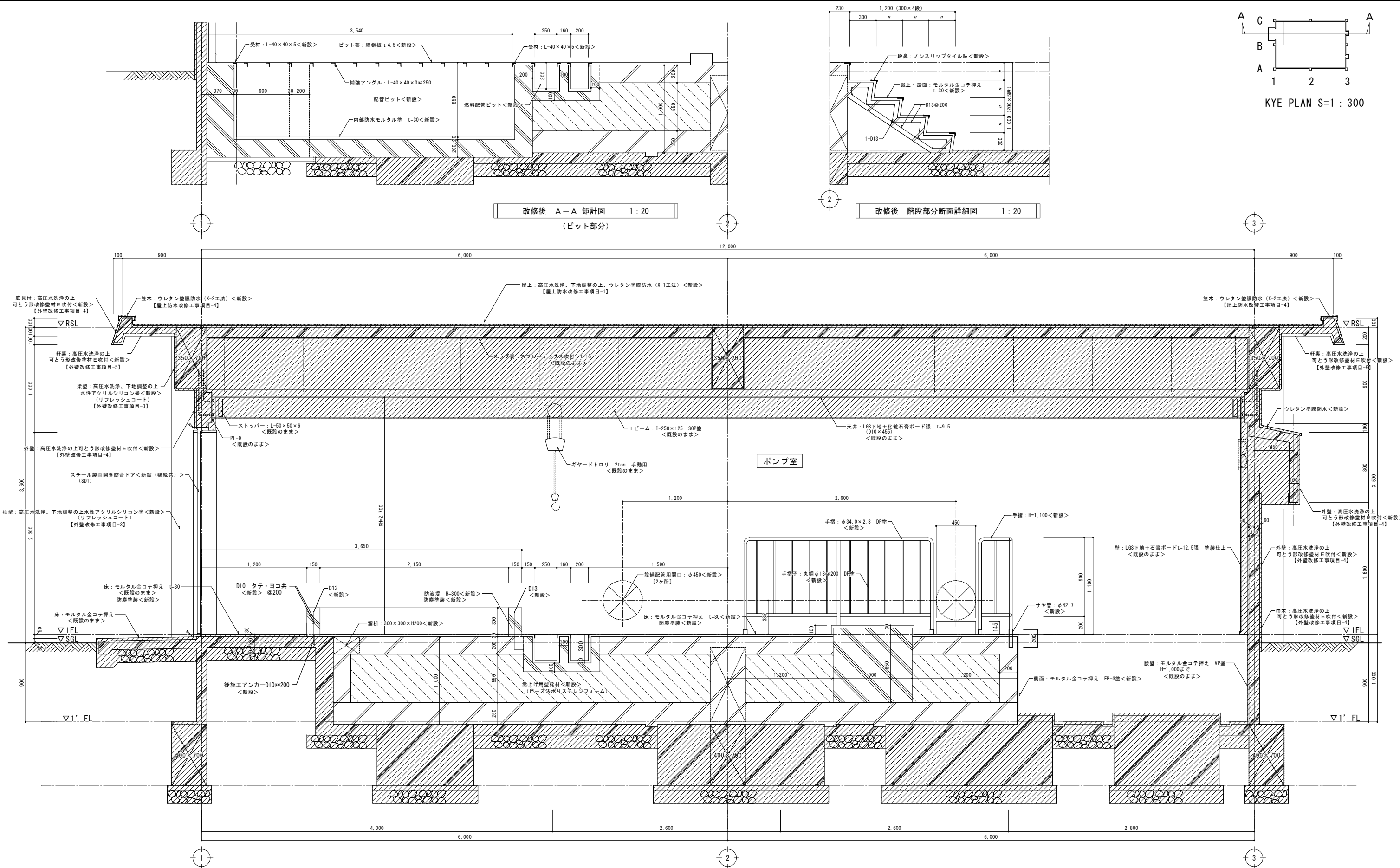
Notes:

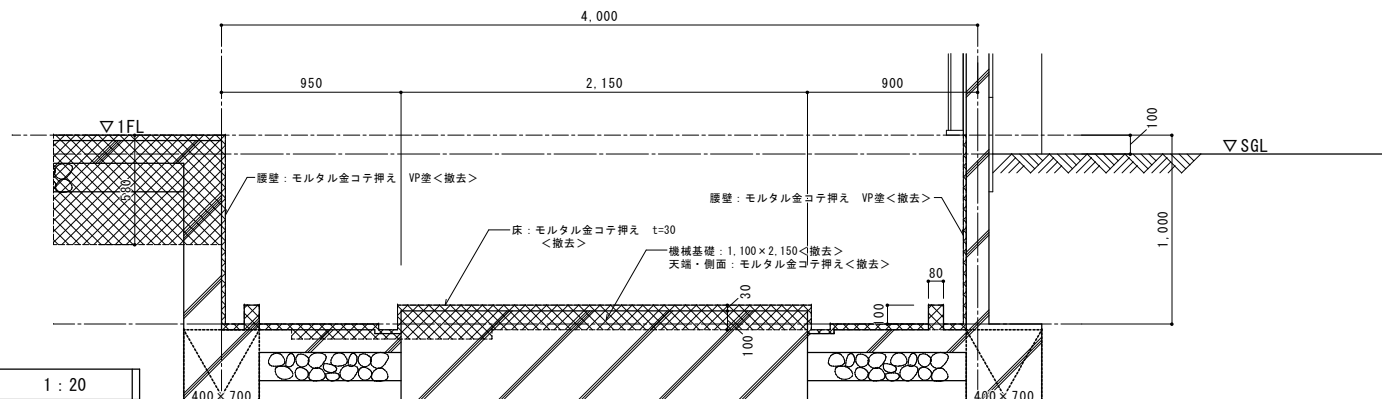
- 既存のまま部分を示す (Indicate existing parts as they are).
- 電気機基礎<新設> (New electrical machine foundation).
- 天端・側面: モルタル金コシ押え 防塵塗装 (Top/Side: Mortar reinforcement, dustproof coating).

 — 既設のまま部分を示す
 — 嵩上げ用型枠材充填範囲を示す
 (ビーズ法ポリスチレンフォーム)



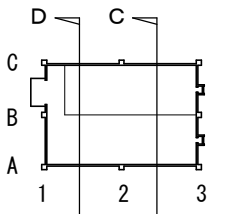
DATE	令和7年2月	SUBJECT 横山ポンプ所水道施設更新工事	TITLE	SCALE	APPRV'D	SHEET NO.	株式会社 エフウォーターマネジメント 1級建築士登録第183114号 小幡 直己
			現況撤去 矩計図（1）	A1 1:20 A3 1:40	CHKCD	① E A-17 29 M	
					DRAWN 小幡 直己		





現況撤去 C-C 矩計図 1:20

縮尺A 1→A 3縮小



KYE PLAN S=1 : 300

改修後 D-D 矩計図 1:20

改修後 C-C 矩計図 1:20

//// — 既設のまま部分を示す

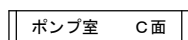
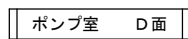
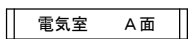
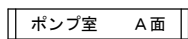
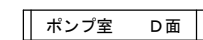
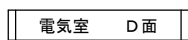
縮尺 A 1→A 3 縮小

DATE	令和7年2月

SUBJECT	横山ポンプ所水道施設更新工事
---------	----------------

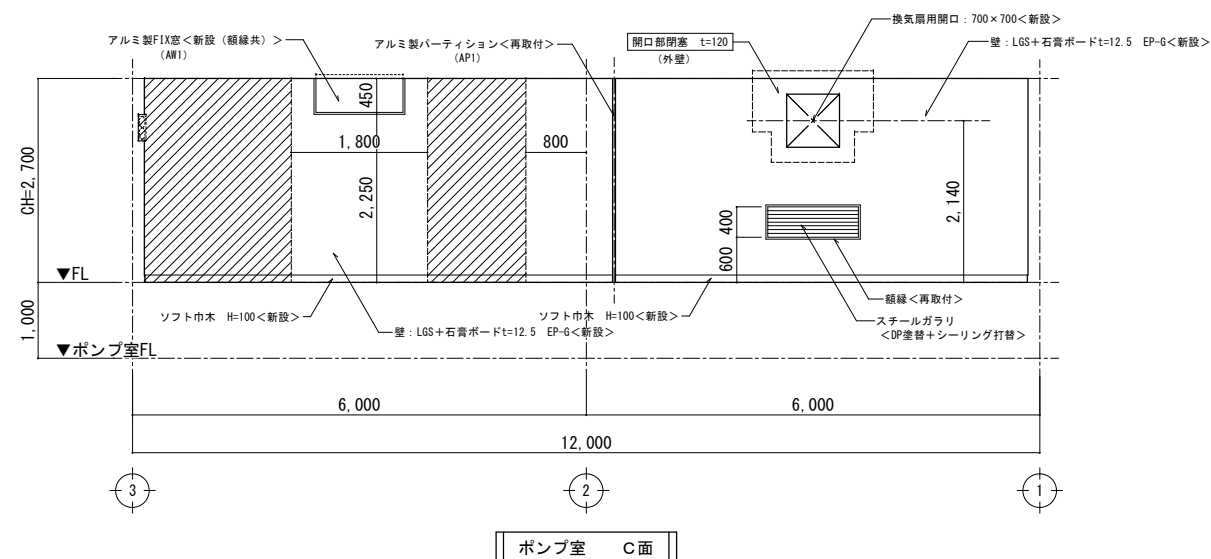
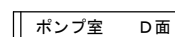
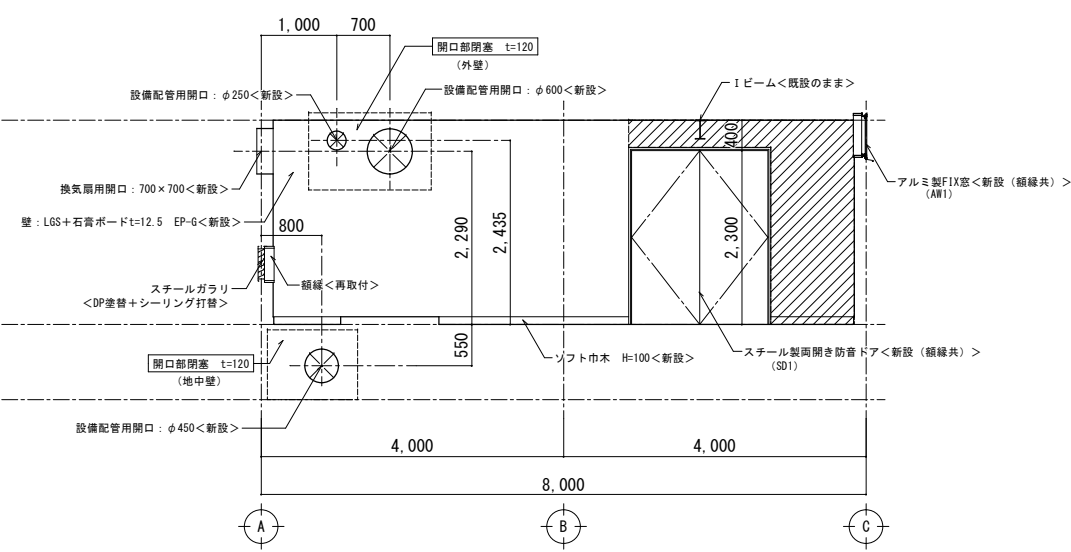
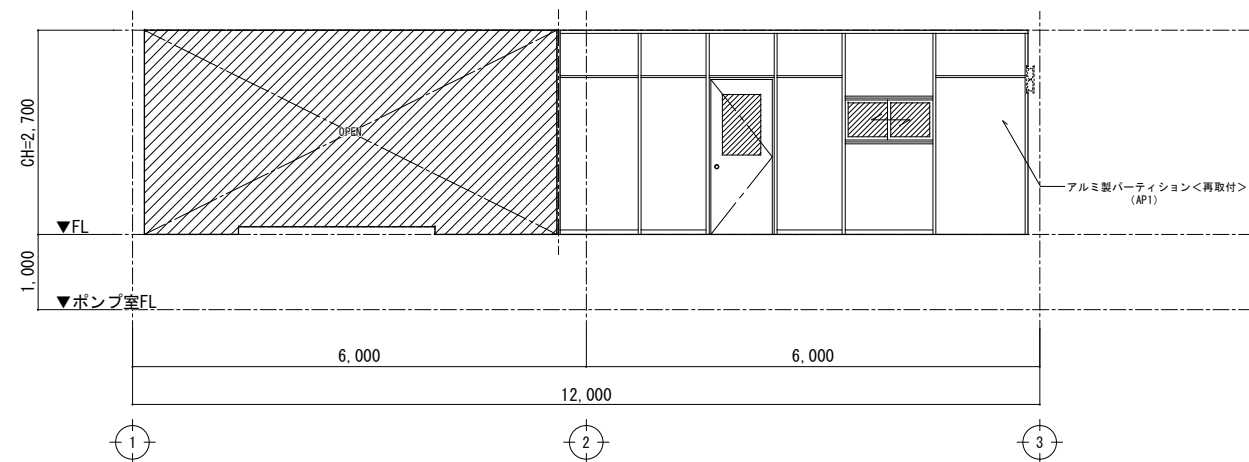
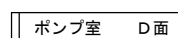
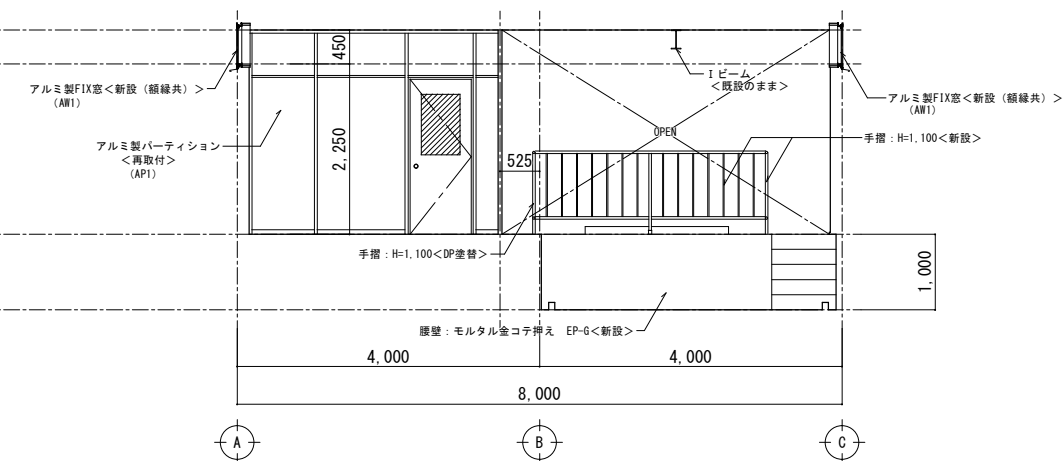
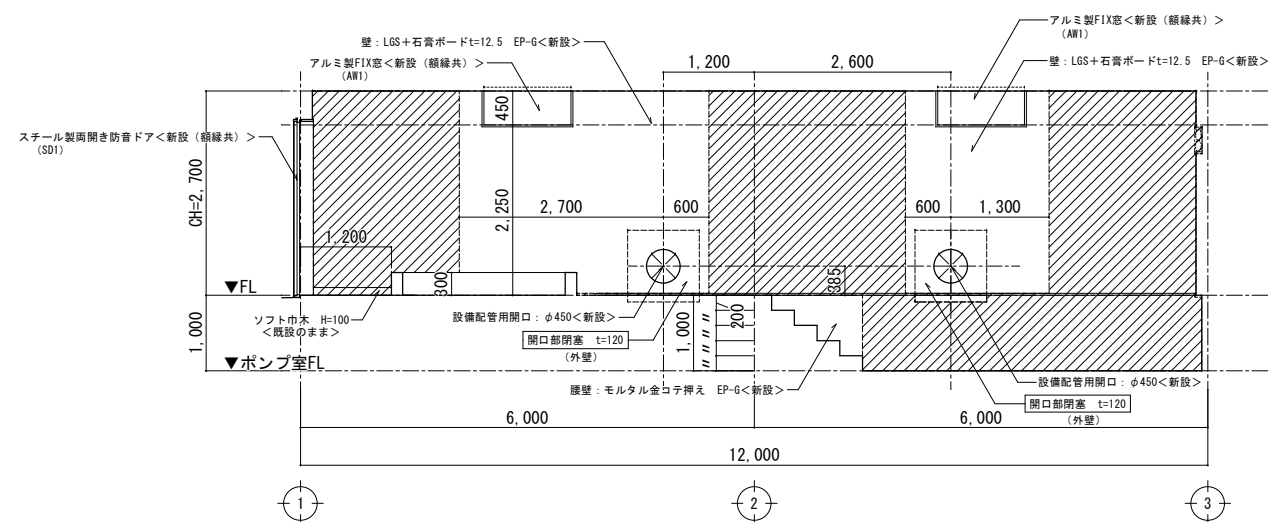
TITLE	改修後 矩計図 (2)
SCALE	A1 1:20 A3 1:40
APPRV'D	CHCKED
	DRAWN 小幡 直己

SHEET NO.	① E M	A-20 29
株式会社 エフウォーターマネジメント		
1級建築士登録第183114号 小幡 直己		



縮尺 A 1 → A 3 縮小

DATE	令和7年2月	SUBJECT	横山ポンプ所水道施設更新工事	TITLE	SCALE	APPRV'D	SHEET NO.	株式会社 エフウォーターマネジメント 1級建築士登録第183114号 小幡 直巳
					A1 1: 50 A3 1: 100	CHKCD	A-22 29	
						DRAWN 小幡 直巳		

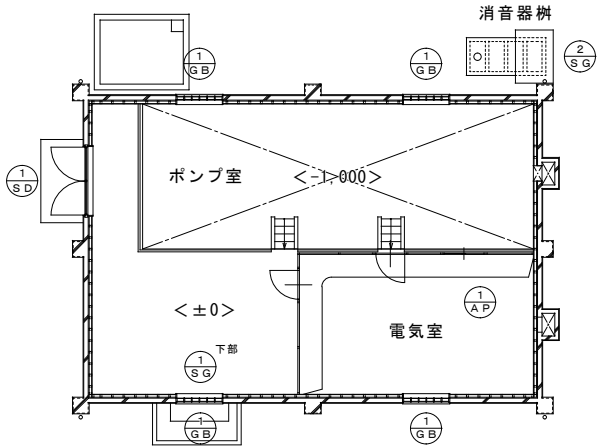


//// — 既設のまま部分を示す

縮尺 A 1 → A 3 縮小

DATE	令和7年2月	SUBJECT	横山ポンプ所水道施設更新工事	TITLE	SCALE	APPR' D	SHEET NO.	株式会社 エフウォーターマネジメント 1級建築士登録第183114号 小幡 直己
				改修後 展開図	A1 1: 50 A3 1: 100	CHKCD	Ⓐ E A-23 29 M	
						DRAWN 小幡 直己		

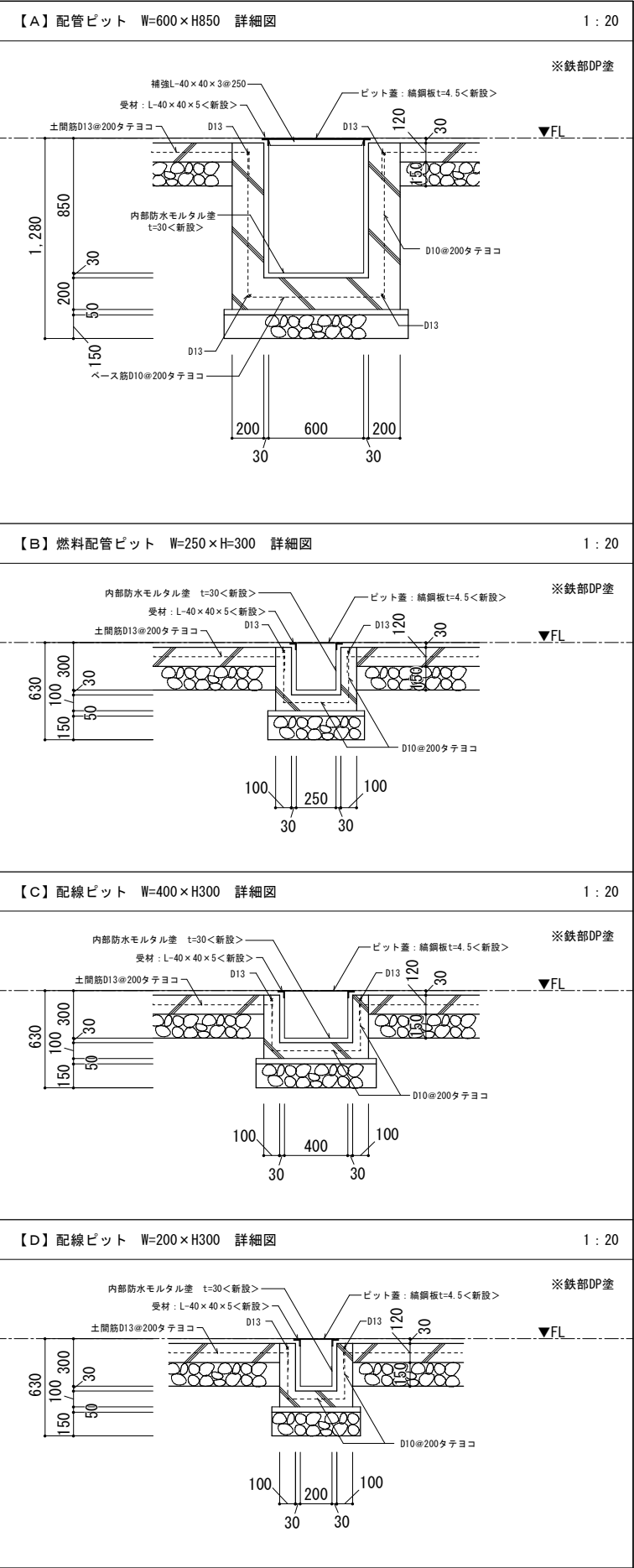
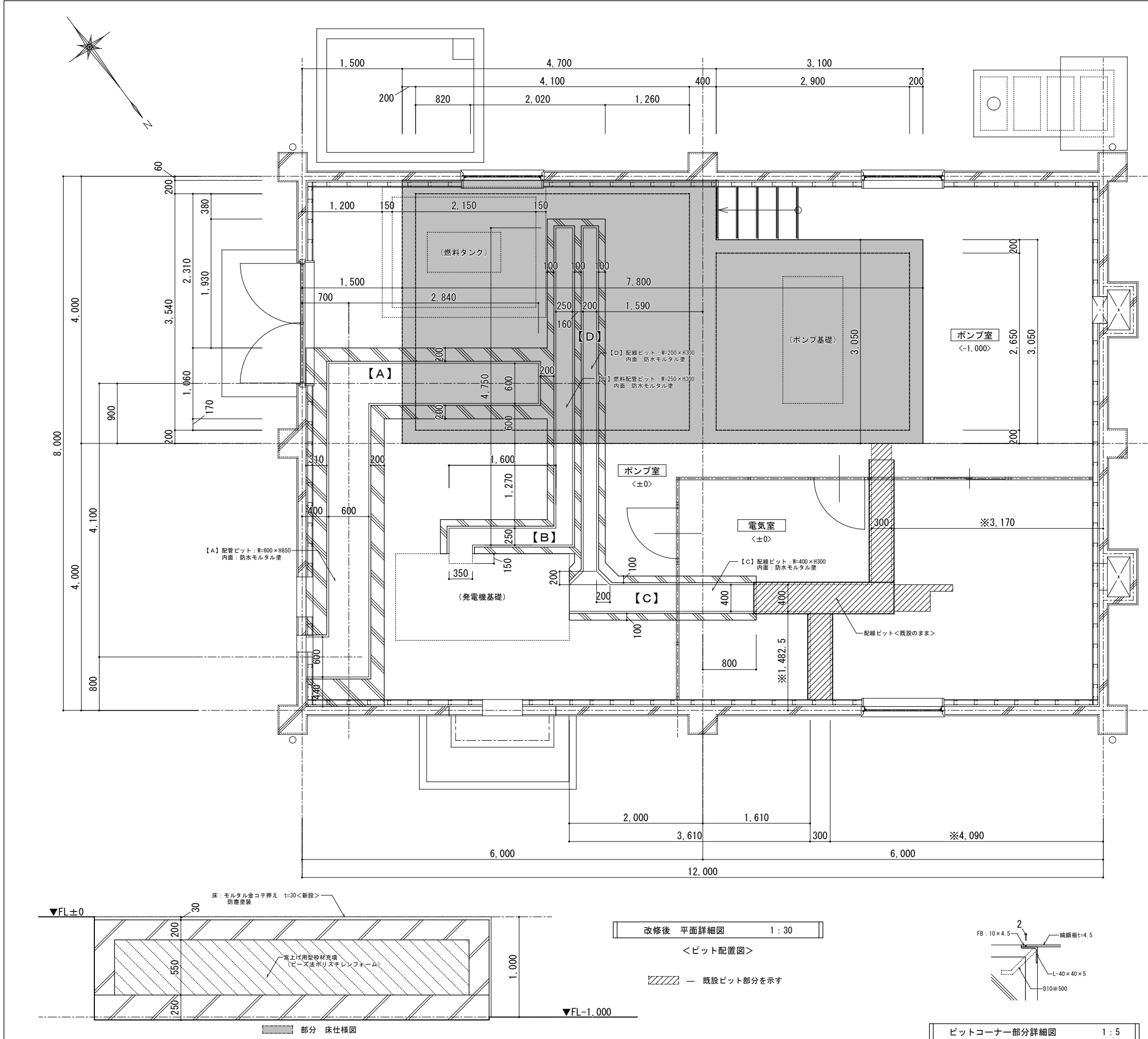
現況撤去 建具表 1 : 30									
符 号		① A P 電気室 1							
形 状									
名 称		アルミパーテーション<一時取り外し>							
仕 上		アルミポスト、不燃パネル 見込 : 50							
硝 子		トーマイガラス							
金 物		モノロック錠、丁番							
備 考									
符 号		① S D ポンプ室 入口 1		① S G ポンプ室 1		② S G 消音器樹 1		① G B 電気室 × 1 ・ ポンプ室 × 3 4	
形 状									
名 称		両開き防音スチールドア<撤去（額縁共）>		固定式スチールガラリ		固定式スチールガラリ		ガラスブロック化粧目地積<撤去（額縁共）>	
仕 上		S O P 塗装 見込 : 86		S O P 塗装 見込 : 70		S O P 塗装 見込 : 70		S O P 塗装 見込 : 100	
硝 子		————		————		————		————	
金 物		鍵付シリンダ錠、丁番、フリス落し		附属金物一式		附属金物一式		補強筋：ﾀﾞｲ9@200 ﾎﾞﾙ9@100	
備 考		建具周囲シーリング<撤去>※アスベスト含有		建具周囲シーリング<撤去>※アスベスト含有		建具周囲シーリング<撤去>※アスベスト含有		建具周囲シーリング<撤去>※アスベスト含有	

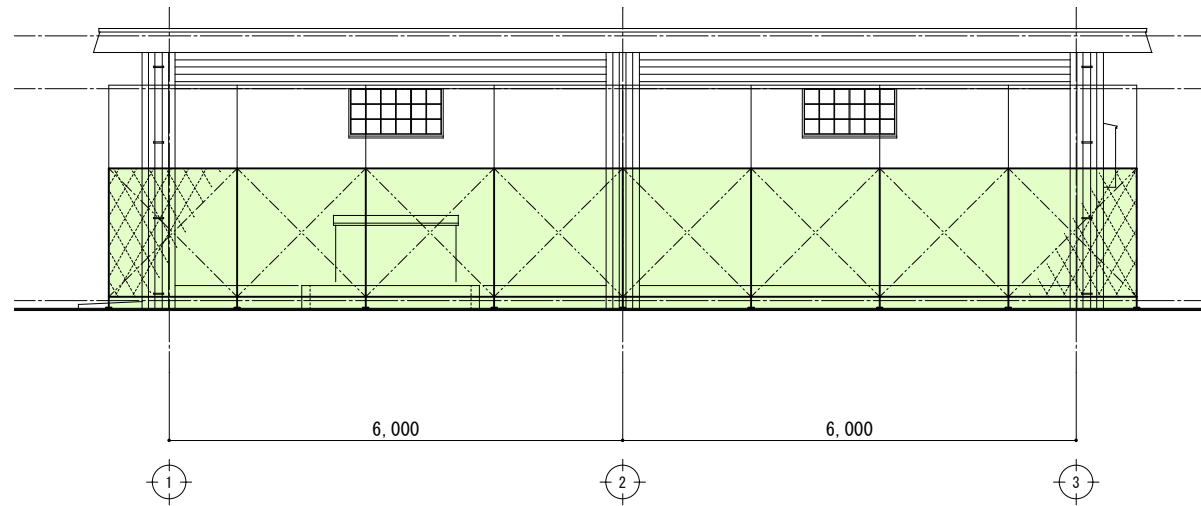


建具符号図 1 : 100

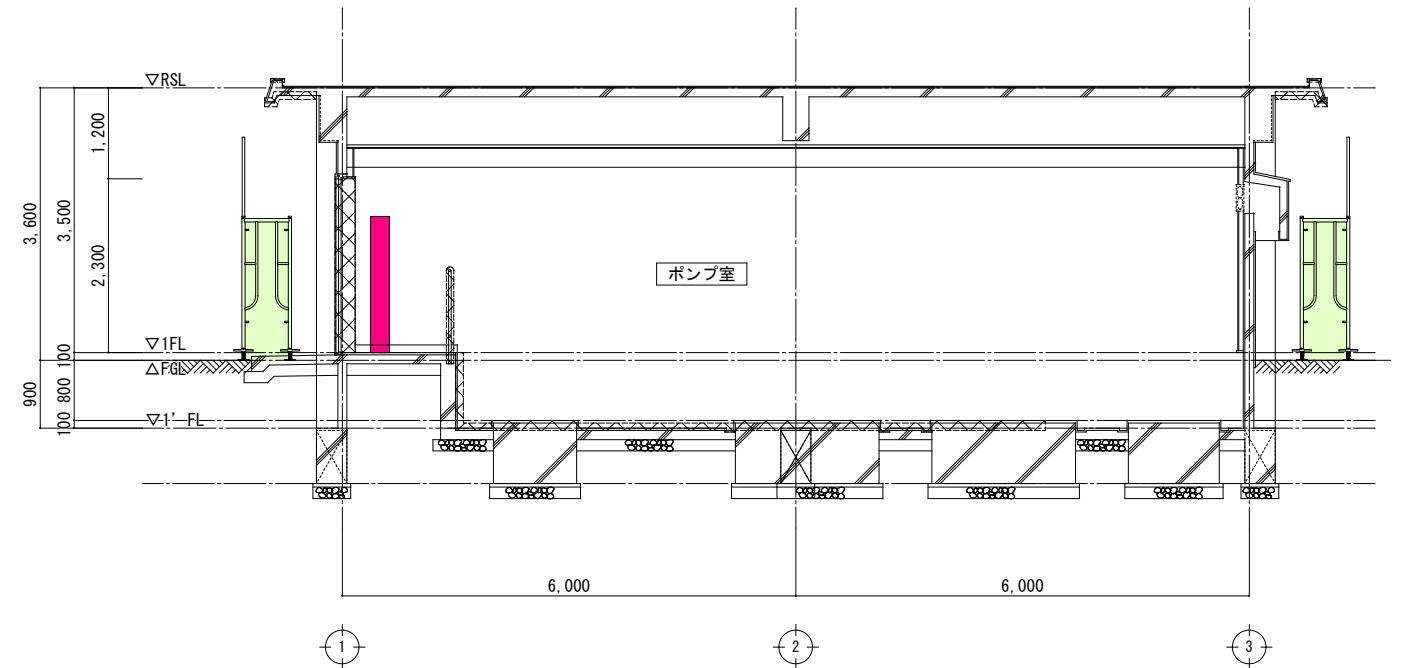
縮尺 A 1 → A 3 縮小

DATE 令和7年2月	SUBJECT 横山ポンプ所水道施設更新工事	TITLE	SCALE	APPRV'D	SHEET NO.	
		現況撤去 建具表	A1 1 : 30 1 : 100 A3 1 : 60 1 : 200	CHECKED	A-24 29	株式会社 エフウォーターマネジメント 1級建築士登録第183114号 小幡 直己
				DRAWN 小幡 直己		

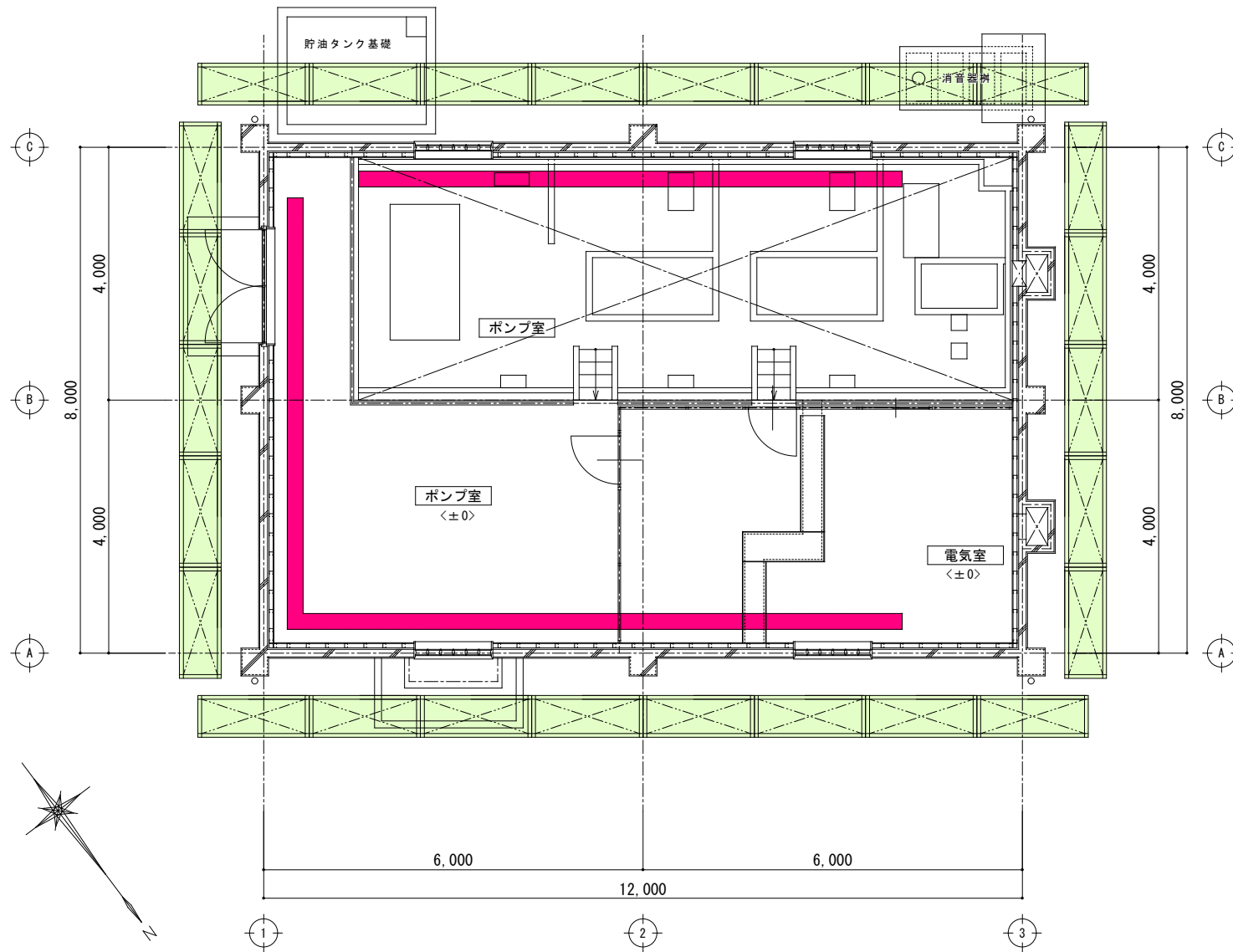




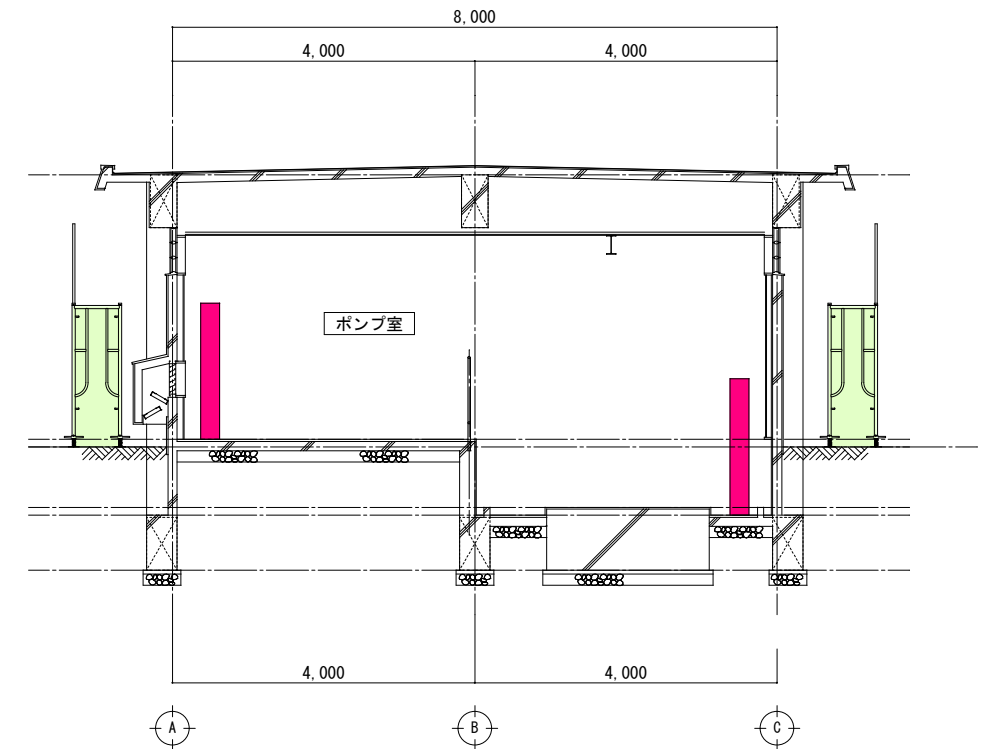
仮設計画東立面図 1:50



仮設計画 A-A 断面図 1:50



仮設計画平面図 1:50



仮設計画 D-D 断面図 1:50

凡 例

- 外部枠組本足場 (手摺先行方式) 建柱600
- 内部足場 (脚立足場) (直列)

縮尺 A 1→A 3 縮小

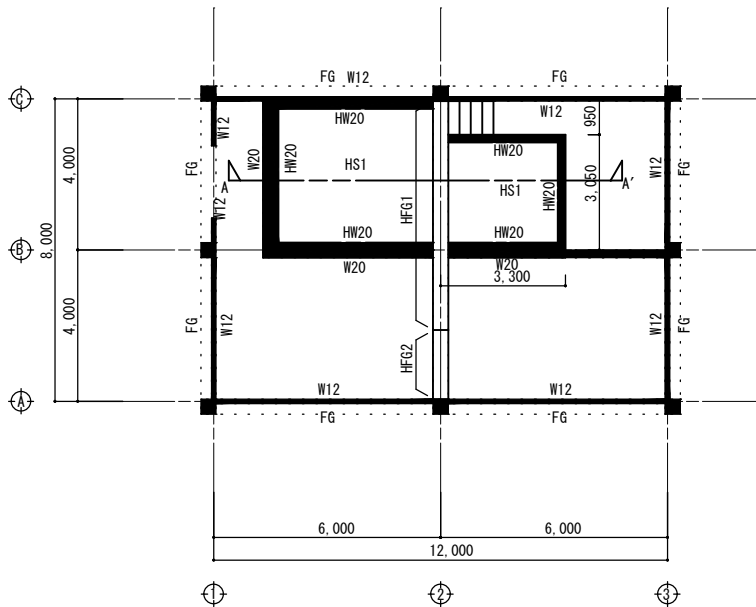
DATE	令和7年2月

SUBJECT	横山ポンプ所水道施設更新工事
---------	----------------

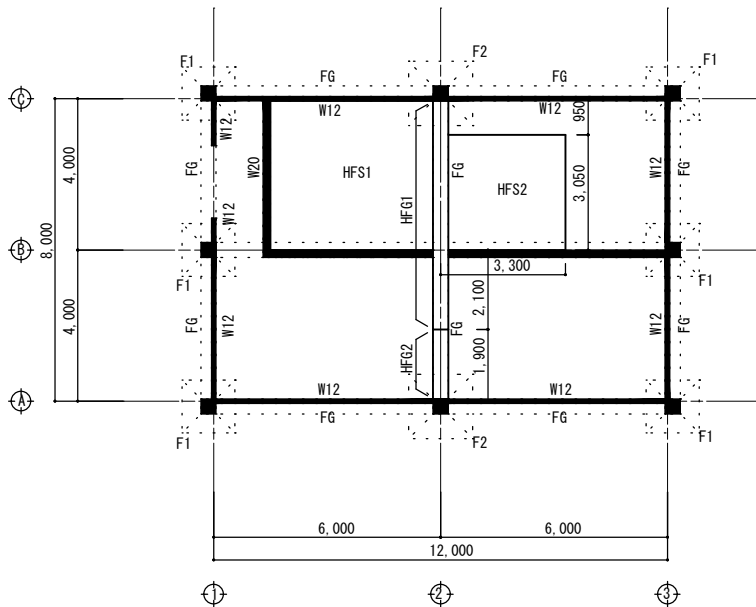
TITLE	SCALE	APPRV'D
仮設計画図 (参考図)	A1 1:50 A3 1:100	CHECKED
		DRAWN 小幡 直己

SHEET NO.
A-27 29

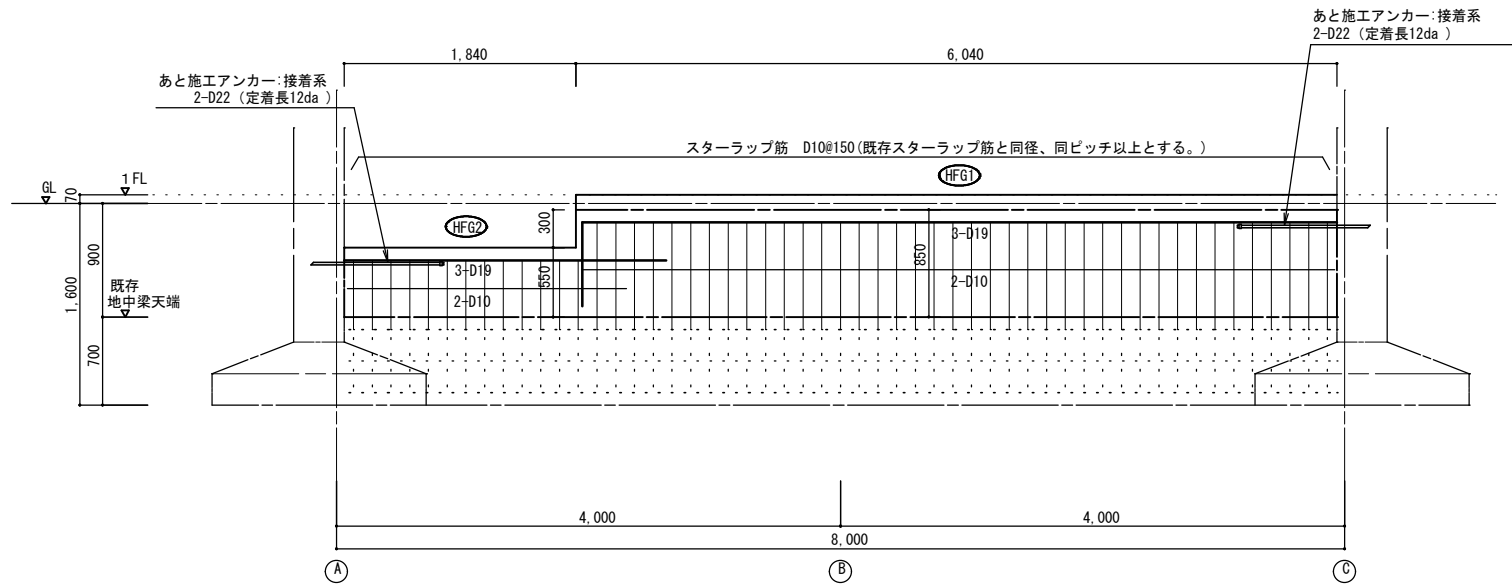
株式会社 エフウォーターマネジメント
1級建築士登録第183114号 小幡 直己



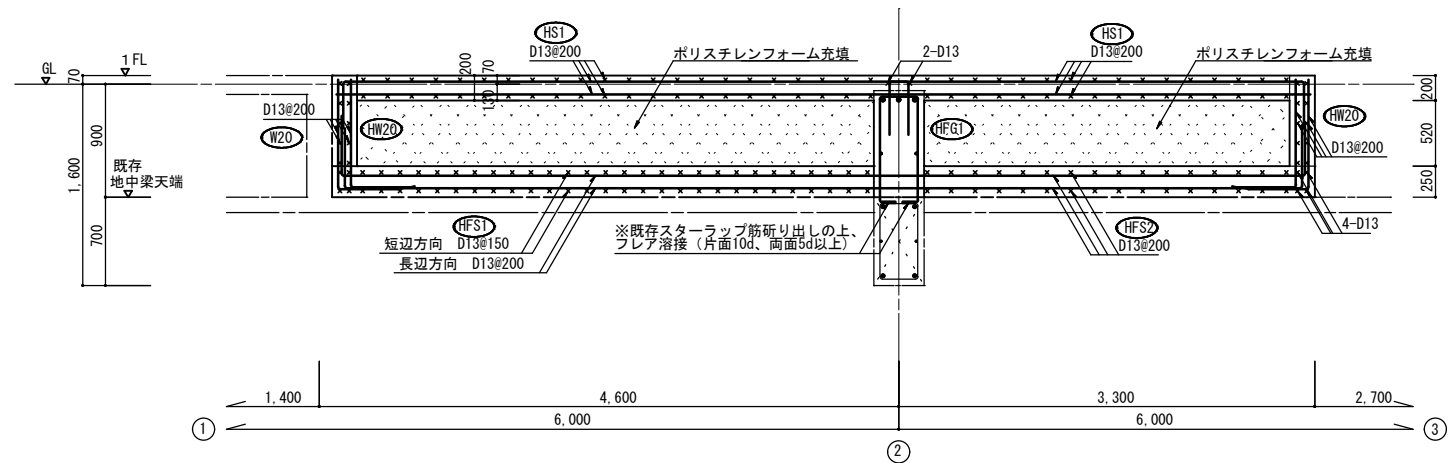
1階床伏図 1/100



基礎伏図 1/100



2連 新設HG1・HG2配筋詳細図 1/30



A-A' 断面配筋詳細図 1/30

地中梁リスト 1/30 ※幅止め筋及び吊・受筋は、D10@1000以下とする。

階	符 号	HF G1	HF G2
	位 置	全断面	全断面
1	断 面		
	B x D	400 x 1550	400 x 1250
	備 考	※1 既存スターラップ筋と同径、同ピッチ以上とする。 ※2 既存スターラップ筋を折り出しの上、フレア溶接（片面10d、両面5d以上）	

縮尺A 1→A 3縮小

DATE	令和7年2月

SUBJECT	横山ポンプ所水道施設更新 工事設計図
---------	--------------------

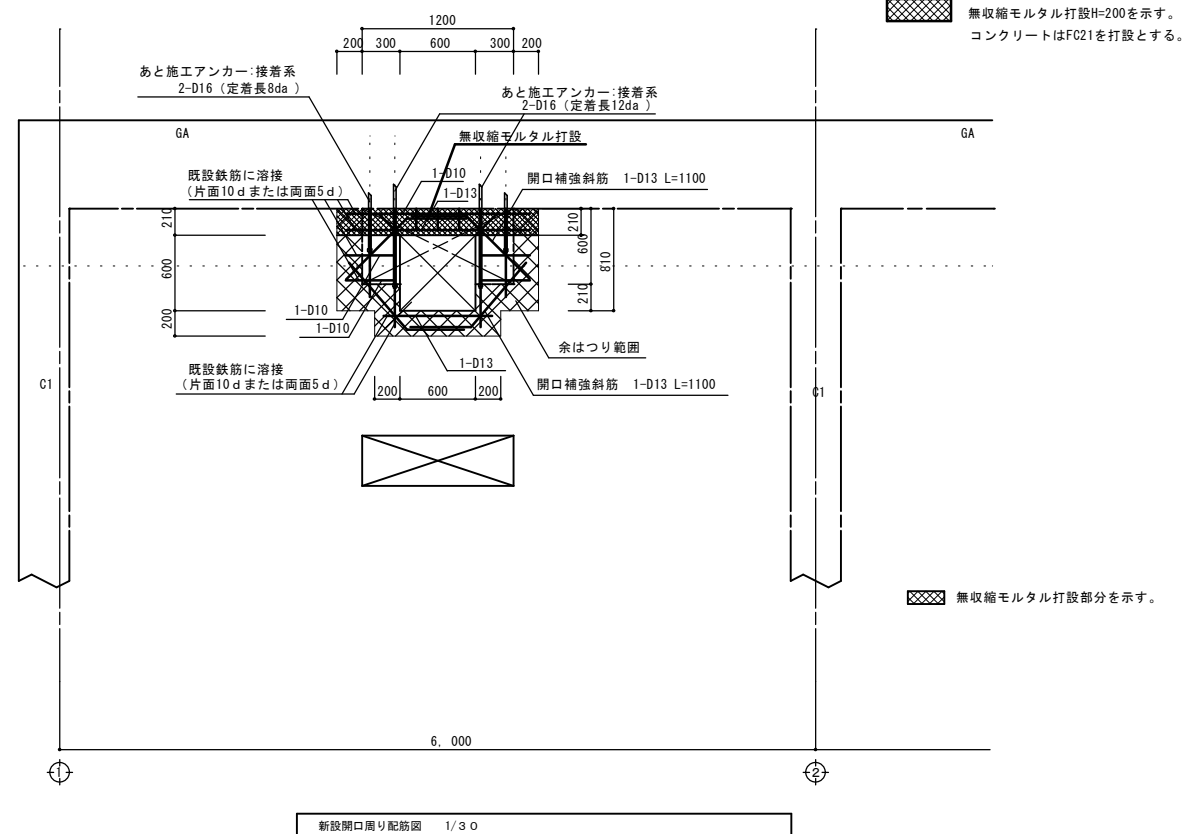
TITLE	増設床詳細図
SCALE	A1 1:100 1:30 A3 1:200 1:60
APPRV'D	CHCKED DRAWN 小幡 直己

SHEET NO.	(A) E A-28 M 29
-----------	-----------------------

株式会社 エフウォーターマネジメント

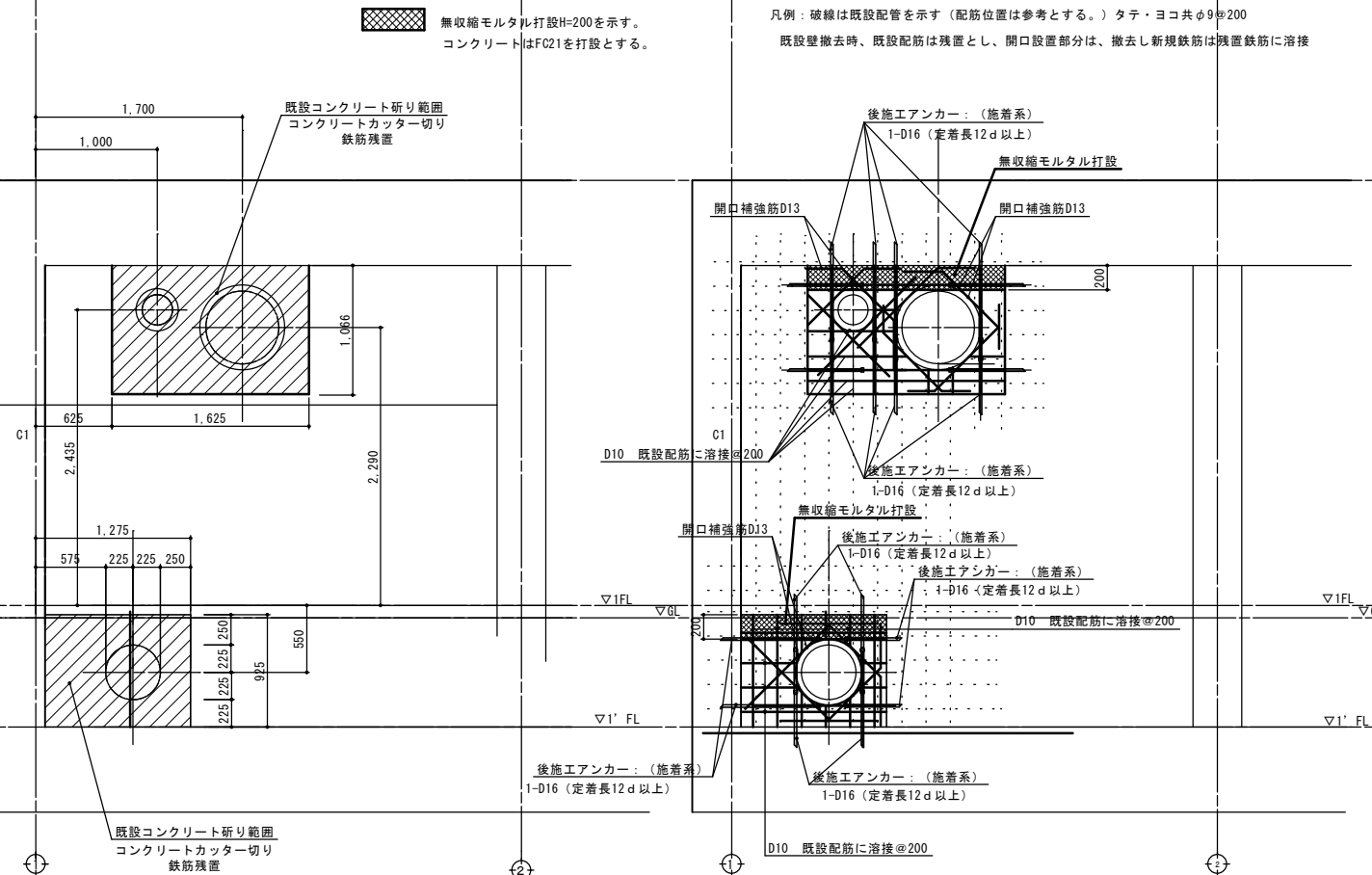
1級建築士登録第183114号 小幡 直己

自家発電機用給気開口部補強図面 S=1:30



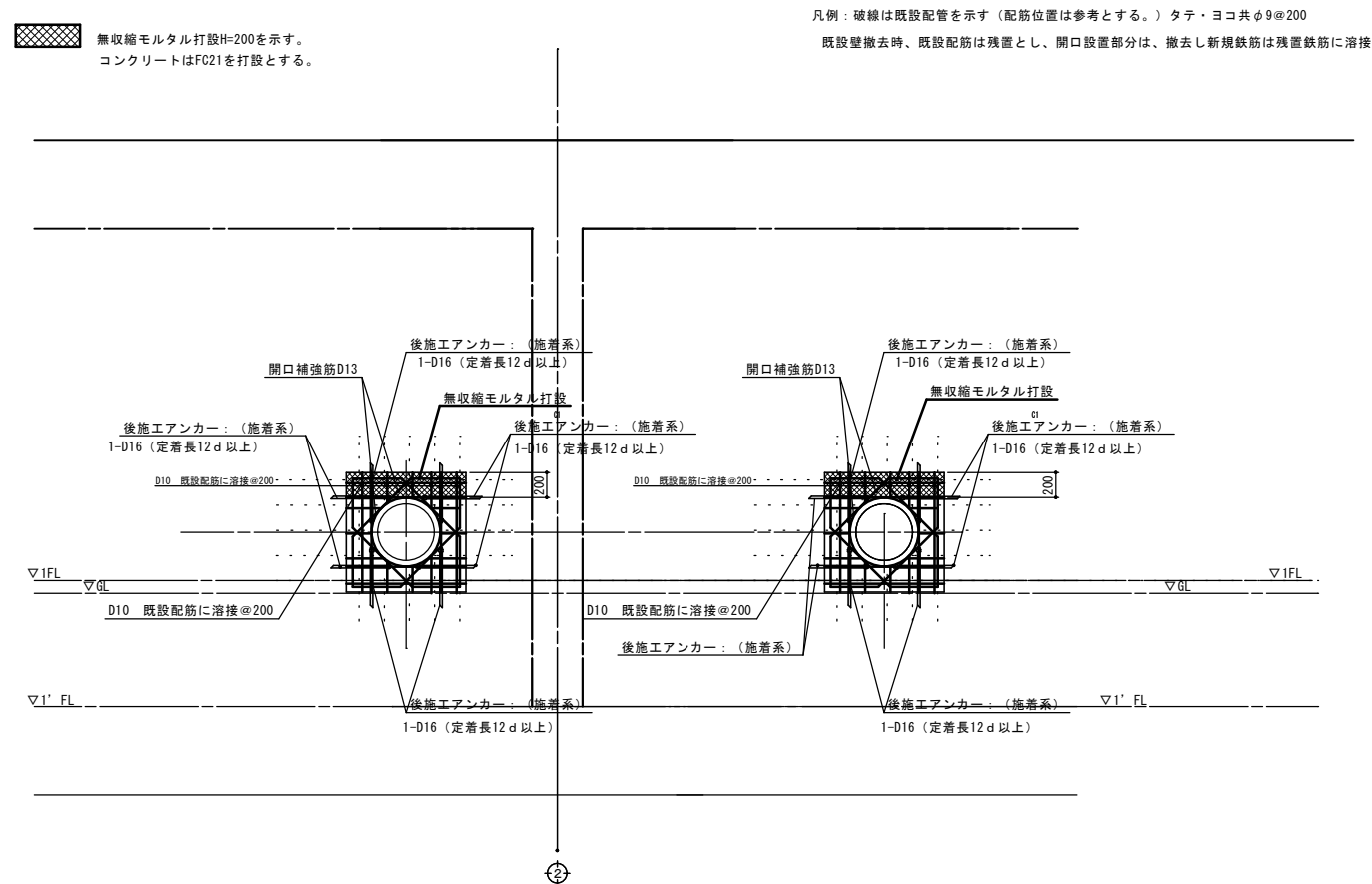
凡例：破線は既設配管を示す（配筋位置は参考とする。）タテ・ヨコ共φ9@200
既設壁撤去時、既設配筋は残置とし、開口設置部分は、撤去し新規鉄筋は残置鉄筋に溶接

自家発電機用排気口・消音器開口・流出管部補強図面 S=1:30

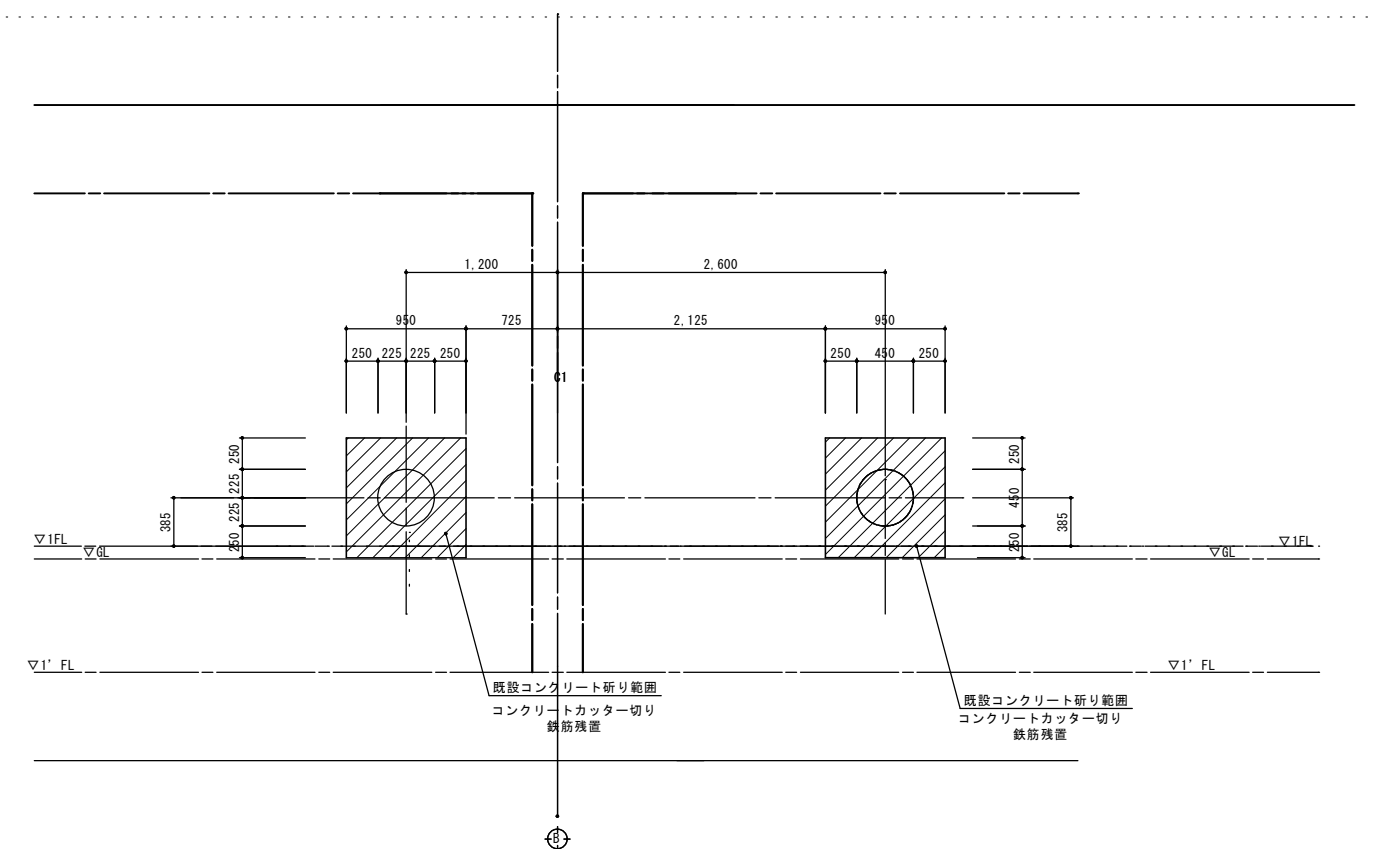


横山ポンプ所水道施設更新 工事設計図

流入管配管開口部補強図面 S=1:30



凡例：破線は既設配管を示す（配筋位置は参考とする。）タテ・ヨコ共φ9@200
既設壁撤去時、既設配筋は残置とし、開口設置部分は、撤去し新規鉄筋は残置鉄筋に溶接



縮尺 A 1 → A 3 縮小

DATE	令和7年2月	SUBJECT	横山ポンプ所水道施設更新 工事設計図	TITLE	SCALE	APPRV'D	SHEET NO.	株式会社 エフウォーターマネジメント 1級建築士登録第183114号 小幡 直己
					A1 1:30 A3 1:60	CHECKED	A-29 29	
						DRAWN 小幡 直己		